Japanese
Second Language

Victorian Certificate of Education **Study Design**

第２言語としての日本語
VCE　学習設計

Victorian Curriculum and Assessment Authority

日本語版発行：独立行政法人国際交流基金
翻訳：宮崎　七湖
校閲：室屋　春光
（独立行政法人国際交流基金派遣
ビクトリア州教育省日本語アドバイザー）

はじめに

いま海外の日本語教育は、初中等教育において拡大しつつあります。高等教育とは異なり、年少者に対する日本語および日本に関する基礎教育を担う初中等教育においては、とりわけ、統一性や一貫性のあるシラバスやガイドラインの整備が重要となるのです。すでに本格化している国々においても、さらに充実を図るために、常にシラバスやガイドラインの最新化が行われています。その動向や成果は、これから本格的に取り組もうとする国々にとっては、きわめて重要な参考資料となるのです。国際交流基金のみならず、海外の日本語教育に携る関係者にとっても、それぞれの国や地域での教育指針を知り、的確に対応するうえで貴重な情報となっています。国際交流基金日本語国際センターでは、それら原本を附属図書館に収蔵して関係者に提供してまいりましたが、和訳がなかったため、原語を解する方々のみの利用に限られていました。

その不都合を解消することによって関係者間の相互交流を図り、より一層日本語教育を拡充するための一助として、2002年（平成14年）に７カ国（韓国、中国、インドネシア、ニュージーランド、米国*、英国、ドイツ）から９点のシラバス・ガイドラインを選び翻訳刊行（分冊）し、ホームページ上でも公開いたしました。

今回はその続刊として、約30万人の日本語学習者を擁するオーストラリアのシラバスのうち、ニューサウスウェールズ州、ビクトリア州のものから計５点を選んで翻訳刊行（分冊）することといたしました。（ニューサウスウェールズ州の３点は2003年12月既刊、ビクトリア州うち１点は2004年３月に既刊。ニューサウスウェールズ州は紙媒体のみ。ビクトリア州分はホームページでも公開。）

今後も引き続き多様な取組みをご紹介してまいりたいと計画しております。

なお、国際交流基金の機構改革により、これまで本事業を担当しておりました日本語国際センター情報交流課が、当基金本部の日本語事業部企画調整課に統合されたことに伴い、本書以降の発行につきましては日本語国際センターから国際交流基金の本部に移りましたことをあわせご報告いたします。

今回の翻訳刊行は、それぞれの原著作者・機関（別記）のご理解とご協力なしには実現いたしませんでした。日本語教育に携る者同士の共感が実を結んだものと思います。ここに、謹んで謝意を表します。

2004年（平成16年）６月

独立行政法人　国際交流基金
日本語事業部長
岡　真理子

＊米国分は、ホームページ上での公開のみ。

日本語翻訳版の刊行にあたって

本書はオーストラリア・ビクトリア州のVCAA（Victorian Curriculum and Assessment Authority－日本の教育委員会に相当する機関）が2004年に発行した“Japanese : Second Language－Victorian Certificate of Education Study Design”を日本語に訳したものです。

オーストラリアは連邦制国家であるため初等中等教育機関の学習指導要領は各州によってことなっており、本書はビクトリア州の中等学校（Secondary College－日本の中学校と高校に相当）の11、12年生（日本の高校２、３年生に相当）の日本語の授業のためのシラバスです。同州の中等学校の11、12年生の学習はVCE（Victorian Certificate of Education）と呼ばれる高校卒業試験兼大学入学共通選考試験に向けての準備が中心となります。試験は最終学年の第４学期に実施され、この試験の成績と学校での成績を基準として各大学は入学者の選考を行います。したがって、本書は単に中等教育機関の語学教育としての日本語コースのためのシラバスであるというわけではありません。本書はVCE日本語試験の出題基準や内容を規定するものであるという性格も持っており、本書に準拠して実施される教育現場の授業でも、このシラバスが要求する語学レベルに達することが常に教師側と学習者側の両者によって意識されています。

本書の構成は、同州で教えられているそのほかの主要言語（アラビア語、イタリア語、インドネシア語、韓国語、ギリシア語、スペイン語、中国語、ドイツ語、フランス語など）の“Study Design”と基本的には共通であり、その意味では汎言語的な語学教育方法論に基づいて作成されているということができます。以下に本書によるコースデザインの概要を示します。

－２年間で４つのユニットを学習する。
－４つのユニットに共通する指定テーマとそれぞれのテーマに属するトピック、さらにその下に属するサブトピックがある。
－各ユニットに共通して学習するべきいろいろな種類のテキスト、５種類の作文形式、語彙リスト、漢字リスト、文法項目リストがある。
－各ユニットには、３つの達成目標（ountcomes）が設定されており、それぞれの達成目標（ountcome）には一連の「主要な知識と言語技能」がリストアップされている。
－ユニットごとの評価の方法も記載されている。
－さらに「教師への助言」の部には、各ユニットごとに２～４種類のユニットデザインの例（テーマ、トピック、サブトピック、文法項目、テキストの種類、学習活動の例、評価タスクの例）が参考に供されている。

教師は、上記の諸要素（テーマ、トピック、サブトピック、いろいろな種類のテキスト、５種類の作文形式、語彙リスト、漢字リスト、文法項目リスト、学習活動、評価タスク）を有機的に織り込む形でユニットの具体的な授業計画を作成し、授業をおこないます。

本書は1999年に発行された同書の改訂版で、2004年の３月に発行され、本書に準拠して行われるVCE日本語試験は2005年から2008年までとなっています。

ビクトリア州の外国語教育についてもっと詳しくお知りになりたい方には、その現状と問題点および問題解決への指標が示されている“Languages for Victoria's Future－An analysis of languages in Victorian schools”をお読みになることをお勧めします。インターネットのURLは以下のとおりです。

http : //www.sofweb.vic.edu.au/lem/lote/pdfs/language_report.pdf

ビクトリア州教育省
日本語アドバイザー
（国際交流基金派遣）
室屋　春光

目　　次

重要確認事項

認定期間

ユニット１－４　2005年－2008年
認定期間は2005年１月１日から始まる。

本書の使用に際して参照すべき情報

『VCE Bulletin』（校閲者注：VCAA が発行する VCE 向けの定期刊行物）は、VCE に関する規則と VCE で認定されている学習内容に変更が生じる場合に参照すべき唯一の公式情報である。また、『VCE Bulletin』（別冊を含む）には、VCE の学習内容に関する助言もしばしば掲載される。VCE を教えている教師は、『VCE Bulletin』が発行された場合には必ず目を通して参照する義務がある。『VCE Bulletin』はすべての VCE を教えている学校に送付されている。また、『VCE Bulletin』は VCAA（Victorian Curriculum and Assessment Authority－ビクトリア州教育カリキュラム及び成績評価管轄機関）のウェブサイト www.vcaa.vic.edu.au でも閲覧することができる。

教師がユニット３と４の校内評価試験を実施する際の支援を目的として、VCAA は評価の手引きを発行する。この「手引き」には、評価を実施する際に使用するタスクの例や評価の際に生徒に期待すべき項目を記述したものなども記載される。

現行の「VCE 及び VCAL 運営の手引き」（VCE and VCAL Administrative Handbook）には、評価とそのほかの手続きに関する必須の情報が記載されている。（校閲者注：VCAL－Victorian Certificate of Applied Learning）

VCE 教育提供機関

本学習設計の中で「学校」と記述されているものには、「学校」のみならず他の VCE 教育を提供する機関も含まれている。

複写

VCE の学校は、教師が使用することを前提とし、この学習設計の部分を複写してもかまわない。

はじめに

学習する言語

「VCE 第２言語としての日本語」で学習し、評価の対象となるのは標準的な現代日本語の書き言葉と話し言葉である。ある種の発音上、アクセント上の方言バリエーションも容認される。生徒は、このシラバスに指定されているように、インフォーマルな話し方とフォーマルな話し方の両方に慣れなければならない。平仮名、片仮名及び所定の漢字も学習する。

学習する理由

英語以外の言語学習は、生徒の全般的な教育、特にコミュニケーション分野はもちろんのこと、異文化理解、認知能力の発達、読み書き能力、一般知識習得にも役立つ。英語以外の言語を学習することにより、その言語を使用しているコミュニティーの文化へアクセスすることができるようになり、また、オーストラリア内外の異なる考え方や価値観への理解を深めることができるようになる。

オーストラリアの学校教育において日本語はアジア太平洋地域の各言語の中で最も広く教えられている言語の１つである。このことは、二国間が経済的、文化的に緊密な関係にあることを示している。

日本語でコミュニケーションする能力と他の諸技能とをあわせて得ることによって、学習者は、貿易、旅行、銀行、科学技術、教育などの分野での就職の機会をより多く得ることができる。

学習の目標（Aims）

VCE の「第２言語としての日本語」の学習は、生徒が以下のことがなせるように設計されている。

・日本語を用いて他者とのコミュニケーションをする。

・日本語が用いられている文化的背景を理解し正しく認識する。

・他の文化を学習することを通して自らの文化を理解する。

・言語を体系として理解する。

・日本語と英語、そして／あるいは他言語とを関連付ける。

・日本語を仕事、高等教育機関での学習、職業訓練、余暇活動に用いる。

構成

学習は４つのユニットからなる。各ユニットはそれぞれ特定の内容を取り扱い、生徒が一連の達成目標（outcomes）に到達できるように作られている。それぞれの達成目標（outcome）は、主要な知識と言語技能という形で記述されている。

「VCE 第２言語としての日本語」の学習開始

ユニット１、２と３の学習を開始するにあたって必要な履修済み科目はない。ユニット４の学習を開始するにはユニット３を履修済みでなければならない。「第２言語としての日本語」は、ユニット１の開始前に日本語を少なくとも200時間は学習済みというような学習者を対象として設計されている。しかし、事前の日本語の学習経験がそれより少なくても、学習開始にあたっての要件を十分に満たしているというケースもありうる。

VCE の日本語学習には２つのコース（「第１言語としての日本語」、「第２言語としての日本語」）がある。この２つのコースのどちらを取るかについての決定には、VCAA のウェブサイトと「VCE 及び VCAL 運営の手引き」に公開されている資格基準が適用され、この資格基準は定期的に見直しがおこなわれる。

ユニット１からユニット４までの学習は中等教育の最終年（11・12年生）として適切な水準となるべく設計されている。すべての VCE 学習科目は、国内外の同程度の水準の教育カリキュラムの標準に基づいている。

学習時間

各ユニットは最低50時間の教室授業を要する。

学習設計の変更

認定期間中に学習内容に小さな変更がある場合は、『VCE Bulletin』に発表される。『VCE Bulletin』は VCE に関する規則と VCE で認定されている学習内容に変更が生じる場合に参照すべき唯一の公式情報である。VCE を教えている教師は、『VCE Bulletin』が発行された場合には、必ず目を通して VCE の学習内容に関する変更や助言を確認する義務がある。

授業内容の監査

VCAA は、常時実施している教育内容の検査と良質の教育の保証の業務の一環として、「第２言語としての日本語」が本書で認定されている通りに教えられ評価されているかにつき監査を実施することがある。監査の手順と提出を要求される項目の詳細は、年度ごとに「VCE 及び VCAL 運営の手引き」（VCE and VCAL Administrative Handbook）に発表される。各学校は、学年度内に監査を受ける学校と学習内容、そして提出を要求される文書についての通知を受ける。

生徒の安全の確保

学校は、本学習設計のもとで学習をしている生徒すべての健康と安全に関する注意義務が実行されていることを確認する義務を負う。

情報通信技術の活用

本学習のコースの計画を立てるに当たり、教師は指導と学習活動にとって適切と判断される場合には情報通信技術を取り入れることが望ましい。「教師への助言」の項では、情報通信技術をどのように学習に取り入れることができるのか、具体例を記載してある。

職業上必要な能力と就職に向けての技能

本学習設計は、学習者に職業上必要な能力と就職に向けての技能を学ぶ機会も提供している。「教師への助言」の項では、学習者が教室活動や評価タスクを行う際にどのようにすれば職業上必要な能力を持っていることを示すことができるかと言う実例を提供している。

法規の遵守

情報を収集し使用する際には、個人情報の提供や著作権に関する法律（Victorian Information Privacy Act 2000，Health Records Act 2001，Federal Privacy Act 1988，Copyright Act 1968など）の法規を遵守しなければならない。

職業教育訓練のコースオプション

職業教育と訓練（Vocational Education and Training : VET）の選択科目を設置したいと考えている学校は、VCAA LOTE VET Supplement という冊子を参照のこと。

評価と成績通知

修了の判定

ユニット修了の合否判定は、生徒が各ユニットで指定されている一連の達成目標（outcomes）に到達したことを実際に示せるかどうかによってなされる。この決定は、該当ユニットで指定されている評価タスクを生徒がいかに総合的に実行できるかを教師が評価し、それに基づいてなされる。ユニットごとの指定評価タスクは、本書中に詳細に示されている（後述）。VCAA は「評価の手引き」を発行する。この手引きには、評価タスクに関する助言とユニット３と４の評価の際に生徒に期待すべき項目が記載される。

教師は、達成目標（outcomes）に到達したことを実際に示せるような機会を生徒に提供できるコースを開発しなければならない。学習活動の例は「教師への助言」の項で紹介する。

学校は各ユニットの結果を S（Satisfactory 合格）、または N（Not Satisfactory 不合格）という記述で VCAA に報告する。

ユニットの修了は、S（Satisfactory 合格）、または N（Not Satisfactory 不合格）という記述で、VCAA が発行する成績証明書（Statement of Results）によって報告される。学校は、到達レベルについて補足情報を報告してもよい。

生徒の提出物の認証

達成目標（outcomes）到達を判定する材料となる生徒の提出物は、教師が知りうる限りにおいて、引用であることを明記した個所以外のすべてがその生徒本人の手になるものであることを教師が証言できるものである場合にのみ受け入れられる。教師は、提出物の認証方法について最新の「VCE 及び VCAL 運営の手引き」を参照しなければならない。ユニット３と４の評価タスクはすべて授業時間内に教師の監督下で実施しなければならない点について留意すること。

到達レベルの評価

ユニット１と２

ユニット１と２の到達レベルの評価の実施方法は各学校の決定にまかされる。これらのユニットの到達レベル評価は VCAA に報告しなくてもよい。各学校は、到達レベルの評価成績を生徒と保護者に通知する方

法を、評点、到達レベルの記述、あるいはそれ以外の指標から選ぶことができる。

ユニット３と４

VCAA は、ユニット３と４を学習するすべての生徒の評価を管理する。

「第２言語としての日本語」では、生徒の到達レベルは学校でのコースワークの評価と２回の学年末試験によって決定される。VCAA は、生徒の評価構成要素（ユニット３、４と VCE 試験）ごとの到達レベルをA＋から E までの評点あるいは UG（評点なし）で通知する。「学習評価得点（study score)」を得るためには、生徒は上記の評点による評価を２回以上受け、さらにユニット３と４の両方で S（Satisfactory 合格）の成績証明を受けなければならない。「学習評価得点」は50点満点の尺度で通知される。この「学習評価得点」は、同じ科目を履修したすべての生徒の成績との比較で、その生徒がどのぐらいの位置にあるかを示したものである。教師は最新の「VCE 及び VCAL 運営の手引き」を参照して「学習評価得点」の点数評価と計算方法の詳細を確認しなければならない。「第２言語としての日本語」の「学習評価得点」の配点は以下の通りである。

・ユニット３のコースワークの学校での評価：25パーセント

・ユニット４のコースワークの学校での評価：25パーセント

・VCE 試験*：口頭試験　　12.5パーセント

　　　　　　筆記試験　　37.5パーセント

評価の要領は、本書のユニット３と４の該当個所に詳述されている。

*口頭試験と筆記試験をあわせた評点が出される。

ユニット１－４：各ユニット共通の学習領域

「第２言語としての日本語」の学習領域は、一連のテーマとトピック、一連の異なる種類のテキスト、５種類の目的を異にする作文、語彙と文法、によって構成されている。これらの領域は４つのユニットに共通であり、生徒たちの言語上のニーズと当該ユニットの達成目標（outcomes）に適うような方法で総合的に取り扱われなければならない。

テーマやトピックは、学生が行う活動やタスクの主題となるという意味で、生徒が達成目標（outcomes）に到達したことを実際に示すための媒介である。

一連の異なる種類のテキスト、５種類の目的を異にする作文、語彙と文法は相互に結びついており、またテーマとトピックにも結びついている。これらは共通の学習領域として一体となり、生徒が達成目標（outcomes）に到達するために必要な知識と技能とをより一層明確にならしめている。

共通学習領域は、すでにある知識の上にさらに知識を積み上げていく機会を提供し、また挑戦意欲をそそるような新しい学習項目で知識や技術を育成することができるようになっている。

テーマ、トピック、サブトピック

指定されたテーマは以下の３つである。

・自分自身

・日本語を話す社会

・変わりゆく世界

これらの指定されたテーマには、それぞれ一連の指定されたトピックと、推奨されたサブトピックとが用意されている。３つのテーマの下に各トピックを配置しているのは、個々のトピックに対しそれぞれに特有の見方を提供するためである。推奨サブトピックは、トピックをさらに詳しく説明しており、トピックをどのように扱うことができるのかについて、生徒と教師の手引きとして利用できる。

すべてのトピックに同じ長さの学習時間をかける必要はない。各トピックにどれぐらい時間をかけるか、各トピックをどのぐらい深く扱うのかは、取り組んでいる達成目標（outcomes）やそのトピックに必要な言葉の勉強、そしてそのトピックに対する生徒の関心の度合いによって異なる。

生徒は、３つのテーマのすべてについて詳しく専門的な知識を持つ必要はないが、この３つのトピックについてひととおり扱うことができるだけの語学的な力量は習得する必要がある。また、ユニット３と４では「詳細研究」（detailed study－校閲者注：あるトピックを選び、それについて詳しく調べ発表する作業）に

着手し進行させなければならない。この詳細研究は、指定されたテーマと指定されたトピックに関係のあるものでなければならず、また、自分で選んだサブトピックに基づいたものでなければならない。これについての詳細は、65～66ページを参照のこと。

指定テーマと指定トピック、推奨サブトピック

自分自身	**日本語を話す社会**	**変わりゆく世界**
・自分の身の回りのこと *例：自分のこと、自分の家と近隣、オーストラリアの観光地や興味深い場所、家族／友人*	***・日本を訪れる*** *例：いろいろなところへ行く（交通と道案内、切符と予約、宿泊施設）、買い物と食事、日本の観光地*	***・仕事の世界*** *例：パートの仕事（アルバイト）、働いている人々*
・日常生活 *例：日課、学校、関心のあることと余暇、健康と病気*	***・日本人の生活*** *例：伝統文化、現代文化*	***・日常生活の変化*** *例：余暇活動の変化、教育制度の変化、日常生活で使う諸機器*
・過去と未来 *例：将来の計画／教育と志望、過去の経験*	***・日本の人々と知り合う*** *例：人々と会う、訪問する、余暇活動*	***・自分の家と近隣*** *例：都会と田舎の変化と比較、オーストラリアと日本の変化と比較、家族生活の変化、地域環境の変化*

注：**太字**＝指定テーマ、***太字のイタリック体***＝指定トピック、*イタリック体*＝推奨サブトピック

テキストの種類

生徒は、以下にあげる種類のテキストに習熟することが求められる。星印（＊）で示された種類のテキストは、外部試験（校閲者注：12年生の最終学期に実施されるVCE試験）において話したり書いたりすることを求められるかもしれない（ので準備しておく）。教師はプログラムの中で、更に広範囲の種類のテキストを導入してもよい。

広告
お知らせ
論文／論説＊
略歴＊
パンフレット
アニメ
図表
漫画
解説
会話＊
話し合い＊
Eメール＊
エッセイ／小論文＊
長めのキャプション＊

ファックス
あらたまった手紙文
指示文
インタビュー（発言の筆記）
招待状＊
旅行日程
日記＊
地図
メニュー
伝言＊
新聞記事＊
個人的／主観的な報告＊
個人的な手紙＊
自分の紹介＊（履歴書を含む）

演劇
詩
はがき＊
レポート＊
報告書＊
批評／論評＊
歌
スピーチ原稿＊
物語＊
要約＊
調査
表
予定表
ウェブページ

（校閲者注：上記リストの順は英語のアルファベット順）

作文の種類

生徒は次の５種類の作文形式に習熟し書けることが求められる：自身のことに関する作文、空想による作文、人を説得する作文、有益な情報を提供する作文、判断を下すための作文（それぞれの種類の作文の詳細については「教師への助言」の項を参照）。

語彙

生徒は、本書で指定されているトピックと関連のある広範な語彙と慣用語法に習熟していることが求められる。

教師と生徒のための学習資料の基礎として語彙リストが VCAA のウェブサイト*（www.vcaa.vic.edu.au）に提供されている。この語彙リストは、生徒が知る必要がある語彙を網羅した限定的なあるいは包括的なリストではない。なぜなら語彙の多くは VCE 学習のために選定された特定のサブトピックと、それらのサブトピック内で扱われる内容の詳細に左右されるものだからである。試験には、この語彙リストに載っていない語が含まれるかもしれない。この場合、その語には英語で注釈がつけられるか、その語はテキストの全面的な理解を妨げないようなものであり、そして／あるいは、どの推奨辞書にも載っているものであるかである。

生徒には積極的に辞書を使用するよう指導することが望ましい。教師は生徒に辞書の効果的な使用に必要な方法を学ばせ、辞書が問題なく使用できると感じさせるようにすることが求められる。本書の「資料」の項に使用に適した辞書のリストがある。学年度末の筆記試験における辞書の使用についての注意は73ページを参照。

下記の指定漢字リストには、生徒が書くことが要求される150字と、日本語のテキストを読む時に理解することが要求される50字がある。生徒はすべての指定漢字を理解することが求められ、「書いて使える漢字」は書いて使えることが求められる。

（*校閲者注：この日本語版には VCAA の許可を得て12～49ページに語彙リストを掲載している。）

指定漢字

書いて使える漢字

数	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 百 千 万
数助詞	本 人
季節／時間	春 夏 秋 冬 日 月 火 水 木 金 土 曜 年 時 分 夕 半 午 毎 週 間 今 先 朝 晩 昼 夜 去
体の部分	目 口 耳 手
位置／方向	上 中 下 左 右 前 後 東 西 南 北 外
家族	父 母 子 家 族
形容詞	大 小 好 安 高 新 古 多 少 楽 長 近 正 広
動詞	行 来 休 出 入 生 見 立 思 書 言 話 読 売 買 食 飲 知 作 住 会 使 着 聞 帰 持 待

学校生活	学 校 英 語 文 字
自然	山 川 田 島 花 海 天 雨 雪
その他	何 友 私 男 女 円 紙 元 気 活 京 都 市 州 国 町 番 社 電 車 自 道 物 名 駅 店 勉 強 方 内

読んでわかる漢字

家族	兄 弟 姉 妹
動詞	止 教 乗 通 急 洗 動 歩
その他	地 院 所 漢 神 銀 心 屋 肉 牛 魚 馬 犬 場 飯 旅 区 県 様 洋 和 寺 病 次 同 森 林 仕 事 早 体 発
色	赤 青 白 黒 色
繰り返し	々

JAPANESE SECOND LANGAUGE STUDY DESIGN
Word List

あ

ああ		Oh! Ah!
ああいう		like that, sort of
あい（する）		love（to love）
あいだ	間	period, time, interval, while
あいさつ		greeting（to greet）
アイスクリーム		ice cream
あう	会う	to meet
あお／あおい	青／青い	blue
あか／あかい	赤／赤い	red
あかちゃん	赤ちゃん	baby
あかるい		bright, light
あがる	上がる	to go up
あき	秋	autumn
あく		to open
あけましておめでとう（ございます）		Happy New Year!（polite）
あける		to open
あげる	上げる	to give, to raise
あさ	朝	morning
あさい		shallow
あさごはん	朝ご飯	breakfast
あさって		the day after tomorrow
あし		leg, foot
あじ		flavour, taste
あした		tomorrow
あす		tomorrow
あずける		to leave, to deposit
あせ（をかく）		perspiration（to perspire）
あそこ		over there
あそぶ		to play, to amuse oneself
あたたかい		warm
あたま		head
あたらしい	新しい	new
あちら／あっち		that way, that one
あつい		hot
あつい		thick
あつめる		to collect, to bring together
あと（で）	後（で）	after, later, subsequent
あなた		you
あに	兄	older brother
あね	姉	older sister
あの		that（over there）
あのう		I say, um, well...
アパート		a flat/apartment
あぶない		dangerous

あぶら		oil, fat
アボリジニー		Aborigine
あまい		sweet
あまり…ない		not very...
あめ	雨	rain
あら		Oh!（female）
あらう	洗う	to wash
あらし		storm
ありがとう（ございます／ございました）		Thank you.
ある		to be to exist
ある		a certain
あるく	歩く	to walk
アルバイト		holiday job, casual job
あれ		that（over there）
あんき（する）		memorisation（to memorise）
あんしん（する）	安心（する）	relief（to be relieved）
あんぜん（な）	安全（な）	safety（safe）
あんな		like that, that sort of
あんない（する）		guide（to guide, to show around）

い

いい／よい		good
いいえ／いえ		no
E（イー）メール／メール		e-mail
いえ	家	house
いう	言う	to say
いか	以下	less than
いがい	以外	except, other than
いかが		how, how about, what about
－いき／－ゆき	行き／行き	bound for（bus, train, etc.）
いきる	生きる	to live
いく	行く	to go
いくつ		how many, how old
いくら		how much
いけばな	生け花	ikebana（flower arrangement）
いけない／いけません		you mustn't
いけん	意見	opinion
いし		stone
いじめ		bullying, torment
いじめる		to bully, to torment
（お）いしゃ（さん）		doctor
いじょう	以上	more than
いす		chair
いそがしい		busy
いそぐ	急ぐ	to hurry
いたい		painful, sore
いただきます		Thank you.（said before a meal）
いただく		to receive（humble）

いちど（に）	一度（に）	once（at the same time）
いちばん	一番	the best, the most
いつ		when
いつか		sometime, someday
いつも		always
いっしょ（に）	一緒（に）	together with
いっしょ（う）けんめい		with all one's might
いってきます（いってまいります）		Bye! I'm off! See you later!（polite）
いってらっしゃい		See you later!（farewelling someone）
いっぱい		full, a lot
いとこ		cousin
いない	以内	less than, not more than
いなか		countryside
いぬ	犬	dog
いま	今	now
いみ		meaning
いむしつ		sick bay
いもうと（さん）	妹（さん）	younger sister
いや（な）		unpleasant, disagreeable, detestable
いらっしゃいませ		Welcome!（to guest,used by shopkeepers）
いらっしゃる		to go, to come, to be（polite）
いりぐち	入り口	entrance
いる		to be, to exist
いる		to need
いれる	入れる	to put into, to make（tea, coffee）
いろ		colour
いろいろ（な）／いろんな		various
（お）いわい		celebration
いわう		to celebrate
インターネット		internet

う

ウール		wool
ううん		no（informal）
うえ	上	above, the upper part of, on
ウエーター		waiter
ウエートレス		waitress
ウエブサイト		website
うけつけ		reception desk
うける（しけんを）		to sit（for an examination）
うごかす	動かす	to move something
うし	牛	cow, cattle
うしろ	後ろ	behind
うすい		thin
うそ（をいう）		lie（to lie, to tell a lie）
うた		song
うたう		to sing
うち		house, home, family

うつくしい		beautiful, attractive
うで		arm
うどん		udon（Japanese wheat noodles）
うま	馬	horse
うまい		skilful, tasty（usually used by males, casual speech）
うまれる	生まれる	to be born
うみ	海	sea, ocean
うら		the reverse side, lining, the rear
うらやましい		envious
うりば	売場	counter, shop
うる	売る	to sell
うるさい		noisy, annoying
うれしい		happy, joyful
うん（がいい／わるい）		（good/bad）luck
うん		yes（informal）
うんてん（する）		driving（to drive）

え

え		picture
エアコン		air conditioner/air conditioning
えいが		movie
えいがかん		movie theatre/cinema
えいご	英語	English（language）
えいきょう（する）		influence, effect（to influence, to affect）
えいせい		satellite
えいぶんがく	英文学	English literature
えいわじてん	英和辞典	English-Japanese dictionary
ええ		yes
ええと		well...let me see...
えき	駅	station
エスカレーター		escalator
えど		Edo（previous name of Tokyo）
えはがき	絵葉書	postcard
えらい		great, extraordinary
えらぶ		to choose, to select, to elect
エレベーター		lift, elevator
えん	円	yen（Japanese currency）
えんげき		play, drama
えんそく		excursion（for primary school students）
えんぴつ		pencil
えんりょ（する）		reserve, hesitation（to be reserved）

お

おいしい		delicious, tasty
おうふく		return（trip, ticket）
おおい	多い	many, numerous
おおきい／おおきな	大きい／大きな	big, large

おおきさ	大きさ	size, dimensions
おおぜい	大勢	many（people）
オートバイ		motorbike
（お）かあさん	（お）母さん	mother
おかえりなさい		Hi. Welcome back!
おかしい		amusing, funny, strange, odd
おきる		to get up
おく		to put
おくさん		wife, married woman
おくりもの	贈物	present, gift
おくれる		to be late
おくる		to send
おこす		to wake someone up
おこる		to happen
おこる		to get angry
おさきにしつれいします	お先にしつれいします	Excuse me for...ing before you.
おさきにどうぞ		Please go ahead, After you.
おしい！		just missed, nearly
（お）じいさん		grandfather, old man
おしえる	教える	to teach
おじさん		uncle, middle aged man
おじき（する）		bow（to bow）
おす		to push, to shove
おせわになりました		Thank you.（for looking after me）
おせん		pollution
おそい		late, slow
おそくなってすみません		sorry, I am late.
おそろしい		awful, terrible, dreadful, scary
おちる		to fall
おつかれさま（でした）		Thank you, you must be tired.
おっしゃる		to say（polite）
おと		sound, noise
（お）とうさん	（お）父さん	father
おとうと（さん）	弟（さん）	younger brother
おとす		to drop, to let fall
おととい		the day before yesterday
おととし		the year before last
おとな	（大人）	adult
おとなしい		quiet, gentle, obedient
おとこ	男	male, man
おとこのこ	男の子	boy
おとこのひと	男の人	man
おどり		dance
おどる		to dance
おなか		stomach
おなじ	同じ	same
（お）にいさん	（お）兄さん	older brother
おにぎり		rice ball

（お）ねえさん	（お）姉さん	older sister
おねがいします		Excuse me!（to get attention）, please
－をおねがいします		May I have...
おば（さん）		aunt, middle-aged woman
（お）ばあさん		grandmother, old woman
おはよう（ございます）		Good morning.（polite）
おび		obi, sash, belt
おぼえる		to learn by heart, to remember
おめでとう（ございます）		Congratulations!（polite）
おも（な）		main
おもい		heavy
おもいだす	思い出す	to recollect, to recall
おもいで	思い出	memories, recollections
おもう	思う	to think
おもさ		weight
おもしろい	面白い	interesting, amusing
おもちゃ		toy
おや		parent
おやすみなさい		Good night.
およぐ		to swim
おりがみ	折紙	origami
おりる		to come down, to get off（train etc）
オレンジ		orange
おる		to fold, to break
おろす		to take down, to drop off
おわり		end
おわる		to end
－おわる		to finish...ing, to end...ing
おんがく	音楽	music
おんがくかい	音楽会	concert
おんせん		hot spring
おんな	女	female, woman
おんなのこ	女の子	girl
おんなのひと	女の人	woman

か・が

か		mosquito
－か		（counter for lessons）
カーテン		curtain
カード		card
ガールフレンド		girlfriend
かいがい	海外	overseas
かいけい（し）	会計（し）	bill, account,（accountant）
がいこく	外国	foreign country
がい（こく）じん	外（国）人	foreigner
かいしゃ	会社	company, office
かいだん		stairs
ガイド		guide

ガイドブック		guidebook
かいわ	会話	conversation
かいもの	買い物	shopping
かう	買う	to buy
かう		to keep（dogs, cats, etc.）
かお		face
かえる	帰る	to go back home, return
かがく	科学	science
かがく	化学	chemistry
かかる		to take（time), to cost（money）
かぎ（をかける）		key, lock（to lock）
かく	書く	to write
かく		to draw, paint
がくせい	学生	student
がくねん	学年	school year
かさ		umbrella
かざる		to decorate
（お）かし		sweets, cakes
かしこまりました。		certainly, sir/madam
かしゅ		singer
…かしら		I wonder...
かす		to lend
かず		number
かぜ		wind
かぜ（をひく）		a cold（to catch a cold）
かぞく	家族	family
ガソリン		petrol
ガソリンスタンド		petrol station
かた		shoulder
かた	方	person（polite）
－かた		a way, a manners, how to（do）
かたい		hard, tough, solid
かたかな		katakana
かたみち	片道	one way（ticket, journey, etc.）
かつ		to win
がっかり（する）		disappointment（to be disappointed）
がっき	学期	school term
がっき	楽器	musical instrument
かっこう		style, appearance
がっこう		school
かつどう	活動	activity
かてい	家庭	home, family, household
かていか	家庭科	home science
かど		corner
かない	家内	wife
かなしい		sad
かならず		without fail
かなり		fairly, considerably

（お）かね	（お）金	money
（お）かねもち	（お）金持ち	rich person, wealthy person
かのじょ	彼女	she/girlfriend
かばん		bag, briefcase
かぶる		to put on（headgear）
かべ		wall
がまん（する）		patience（to be patient, to endure）
かみ（のけ）		hair
かみ		paper
カメラ		camera
－から		from, since, because
から		husk, hull, shell, empty, void
からい		hot, spicy
カラオケ		karaoke
ガラス		glass
からだ	体	body
からて	空手	karate
から（の）		empty
かりる		to borrow
かるい		light（weight）
かれ		he/boyfriend
ガレージ		garage
かもく	科目	（school）subject
かよう	通う	to commute
かわ	川	river
－がわ		-side
かわいい		cute, charming
かわいそう		pitiful, pitiable, poor, miserable
かわかす		to dry,
かわく		to dry up, get dry, be thirsty
かわり（に）		instead of, in place of
かわる		to vary, be altered, turn into
かんがえ		thoughts, idea
かんがえる		to think about
カンガルー		kangaroo
かんきょう		environment
かんけい（する）		relationship, connection（to be related to, to be involved in）
かんげい（する）		welcome（to welcome）
かんこう（する）		tourism（to go sight-seeing）
かんこうきゃく		tourist
かんさい（ちほう）	関西（地方）	Kansai（Region）
かんじ	漢字	kanji
かんじ		feeling
かんたん（な）		simple, easy
かんとう（ちほう）	関東（地方）	Kanto（Region）
がんばる		to persist, to try hard

き・ぎ

(お) きをつけて (ね)。	(お) 気をつけて (ね)	Take care!
きをつける	気をつける	to take care
きいろ (い)		yellow
きえる		to be extinguished, to go out
きおん		temperature
きかい	機会	opportunity
きかい		machine
きく	聞く	to hear, to listen, to ask
きけん (な)		danger (dangerous)
きげん (がいい／わるい)		to be in a (good/bad) mood
きこう	気候	climate
きこえる	聞こえる	to be audible
きじ		(newspaper) article
ぎじゅつ (しゃ)		technology (technician, engineers)
きせつ		season
きそく		rule, regulation
きた	北	north
ギター		guitar
きたない		dirty, untidy, messy
キッチン		kitchen
きっさてん	喫茶店	tea room, coffee lounge, cafe
きって	切手	postage stamp
きっと		surely, undoubtedly
きっぷ		ticket
きのう		yesterday
きびしい		strict, severe
きぶん	気分	mood, feeling
きぼう		hope, desire
きまる		to be decided
きみ		you (male, informal)
きめる		to decide, to choose
きもち	気持ち	feeling
きもの	着物	kimono
(お) きゃく (さん)		guest, customer
キャンセル (する)		cancellation (to cancel)
キャンプ		camp
きゅう (な)	急 (な)	cudden
きゅうこう	急行	express (train, etc.)
ぎゅうにく	牛肉	beef
ぎゅうにゅう	牛乳	milk
きゅうりょう		salary
きょう	(今日)	today
きょういく (する)	教育 (する)	education (to educate)
きょうかしょ	教科書	textbook
きょうしつ	教室	classroom
きょうそう (する)		competition (to compete)
きょうだい	兄弟	brother(s), sister(s), siblings

きょうみ		interest
きょく		tune, melody
きょねん	去年	last year
きらい（な）		dislike, distasteful
ぎり		obligation
きる		to cut
きる	着る	to wear
きれい（な）		pretty, clean
キロ		kilometre, kilogram
ぎんこう	銀行	bank
きんじょ	近所	neighbourhood, nearby, vicinity
きんぱつ	金髪	blond hair
きをつける	気をつける	to pay attention, to be careful

く・ぐ

－く	－区	ward
ぐあい（がいい／わるい）		condition, situation, to feel good/bad
くうき	空気	air
くうこう		airport
クーラー		cooler, air-conditioner
くさい		smelly
くすり（をのむ／がきく）	くすり（を飲む／がきく）	medicine（to take medicine, the medicine is effective）
くせ		bad habit
ください	下さい	please（give me）
くださる	下さる	to give to me（polite）
くだもの	果物	fruit
くち	口	mouth
くつ		shoe
くつした	靴下	socks
くに	国	country
くび		neck
くみ／ぐみ		class, group
くもり		cloudy
くもる		to be cloudy
くらい		dark
－くらい／－ぐらい		about
グラウンド		sportsground, oval
クラシック		classical（music）
クラス		class
クラブ		club
くらべる		to compare
クリケット		cricket（game）
クリスマス		christmas
グループ		group
くるしい		unbearable, painful, trying, hard
くるま	車	car
くろ／くろい	黒／黒い	black

くろう（する）		hardship, trouble（to suffer trouble）
くれる		to give（to me）
－くん		（suffix used after boy's name）

け・げ

けいかく（する）		plan, schedule（to plan）
けいかん		policeman
けいけん（する）		experience（to experience）
けいざい		economy, economics
けいさつ		police
ケーキ		cake
ゲーム		game
けいたいでんわ		mobile phone
けが（をする）		injury（to be injured）
げき		drama
げきじょう		theatre
けさ	（今朝(けさ)）	this morning
けしき		scenery, view
けしゴム		rubber, eraser
けす		to switch off, to erase
けっこう		good（polite）
（いいえ）けっこうです。		No thank you.
けっこん（する）		marriage, wedding（to marry）
げつよう（び）	月曜(日)	Monday
けつろん		conclusion
けれども／けれど／けど		but, however
けん	県	prefecture
けんがく	見学（する）	inspection, observation（to inspect）
げんかん		entrance, front door
げんき（な）	元気（な）	healthy, vigour, in good spirits
（お）げんきですか。		How are you?
げんきでね		Good-bye! Take care!
けんきゅう（する）		research, study（to research）
げんざい		currently, at present
けんどう	剣(けん)道	kendo（Japanese fencing）
けんぶつ（する）	見物（する）	sightseeing（to sightsee）

こ・ご

こう（いう）		like this, this sort of
こうえん		park
こうがい	郊(こう)外	suburb
ごうかく（する）		success/pass（to pass an exam）
こうぎょう		（manufacturing）industry
こうこう（せい）	高校（生）	senior high school（student）
こうさてん		crossroad, intersection
こうしゅうでんわ	公衆(こうしゅう)電話	public phone
こうじょう	工場(こう)	factory
コース		course

コーチ		coach
こうちゃ		（black, Indian）tea
こうちょうせんせい	校長先生	principal（school）
こうつう	交通	traffic
こうてい	校庭	school playground
コート		court（e.g. tennis court）
こうとうがっこう	高等学校	senior high school
こうばん	交番	police box
コーヒー		coffee
こうりつ	公立（学校）	public（school）
こえ		voice
ごかい（する）		misunderstanding（to misunderstand）
こくさい	国際	international（noun）
こくばん	黒板	blackboard
ここ		here
ごご	午後	afternoon（pm）
ごぜん	午前	morning（am）
こたえ		answer/reply
こたえる		to reply, to answer
こたつ		kotatsu（low table with heater below）
ごちそうさま（でした。）		Thank you for the meal.
こちら／こっち		here, this one, this way
こちらこそ		You are welcome.
（お）こづかい		pocket-money, spending money
こづつみ	小包	parcel
こと		thing, fact
ことし	今年	this year
ことば		word, languages
こども	子供	child, children
この		this...
このあいだ	この間	the other day
このごろ		these days
このみ	好み	liking, preference
コピー		copy
ごはん	ご飯	meal, cooked rice
こまる		to be trouble, to be in trouble
ごみ		rubbish
ごみばこ		rubbish bin
こむ		to be crowded
ゴム		rubber
こめ		rice
ごめんください。		Excuse me, is anybody home?
ごめんなさい。		Sorry, I apologise.
ゴールデンウィーク		golden week
ゴルフ		golf
これ		this
これから		from now on, in future
これで		now, with this

－ころ／－ごろ		about（time）
こわい		scary, frightful, dreadful
こわす		to break, destroy, demolish
こんげつ	今月	this month
コンサート		concert
こんしゅう	今週	this week
こんど	今度	next time, this time, shortly
こんな		such as this, this sort of
こんにちは	今日は	Hello, Good afternoon, Good day.
こんばん	今晩	tonight
こんばんは	今晩は	Good evening.
こんや	今夜	tonight
こんやく（する）		engagement（to be engaged）
コンピューター		computer

さ・ざ

さあ		well, well now
さいきん	最近	recently
さいご	最後	the last
さいしょ		the first, the beginning
さいしょに		to begin with
さいふ		purse, wallet
ざいりょう		materials, ingredients
さがす		to look for, to search
さかな	魚	fish
さがる	下がる	to fall down, to come down
さかんな		popular, flourishing
さき	先	ahead
さく		to bloom
さくら		cherry-tree, cherry-blossoms
さくぶん	作文	composition
（お）さけ		sake（rice wine）
さげる	下げる	to lower, hang（down）
（お）さしみ		sashimi（sliced raw fish）
さす		to point, to hold up（umbrella）
さっか	作家	writer, author
サッカー		soccer
さっき		a little while ago
ざっし		magazine
（お）さとう		sugar
さばく		desert
さびしい		lonely, solitary, deserted
ざぶとん		cushion（for sitting on）
さむい		cold（weather）
さよ（う）なら		Good-bye.
（お）さら		plate
さらいしゅう	再来週	the week after next
さらいねん	再来年	the year after next

サラリーマン		salary earner, office worker
さる		monkey
さわる		to touch
さんか（する）		participation（to participate in）
さんぎょう		industry
さんせい（する）		agreement（to agree）
サンドイッチ		sandwich
ざんねん		regrettable, disappointing
さんぽ（する）	散歩	a walk（to go for a walk）

し・じ

し		poem, poetry
－し	市	-city, city of
じ	字	letter, character
しあい（する）		match, game, tournament（to play a match）
しあわせ		happiness
シーディー		CD, compact disk
（お）しお		salt
しおからい／しょっぱい		salty
しか…（ない）		only, nothing but
しかし		but, however
しかたない／しょうがない		It can't be helped, That's too bad.
じかん	時間	time, hour
じかんひょう	時間表	timetable
じかんわり	時間割	（school）time table
しき		ceremony
じきゅう		hourly wage
しけん（する）		examination（to examine, to test）
じこ		accident
じこくひょう	時刻表	（train, bus, etc.）timetable
じこしょうかい（する）	自己紹介（する）	self-introduction（to introduce oneself）
しごと	仕事	job, work
じしょ	辞書	dictionary
じしん	自信	confidence
じしん	地震	earthquake
しずか（な）		quiet
しぜん		nature
した	下	under
した		tongue
じだい	時代	era, period, time
したしい		intimate, close
しつぎょう（する）		unemployment（to lose one's job）
じつは…		to tell the truth...the fact is
しっぱい（する）		failure（to fail）
しつもん（する）		question（to ask）
しでん	市電	tram
じてんしゃ	自転車	bicycle
じどうしゃ	自動車	automobile, car

しぬ		to die
じぶん	自分	own, oneself
しま	島	island
しまいとし	姉妹都市	sister cities
しまう		to put away, to finish
じむしょ	事務所	office
しめる		to shut, to close
じゃあ／じゃ		well...
しゃかい	社会	society
しゃかいか	社会科	social study
しゃしん（をとる）		photograph（to take a photo）
しゃちょう	社長	management director, company president
シャツ		shirt
しゃべる		to talk, to chat（casual）
ジャーナリスト		journalist
シャワー（をあびる）		shower（to have a shower）
しりつ（がっこう）	私立	private（school）
しりつ（がっこう）	市立	municipal/public（school）
じゆう（な）	自由	freedom（free）
しゅうかん		custom, habit
しゅうきょう	宗教	religion
じゅうしょ	住所	address
しゅうしょく（する）		finding employment（to find employment）
ジュース		juice
じゅうどう	柔道	judo
じゅうぶん（な）	十分（な）	enough, sufficient
しゅうまつ	週末	weekend
じゅぎょう		school lesson, class
じゅく		juku（coaching school）
しゅくだい		homework
しゅじゅつ		（surgical）operation
（ご）しゅじん	主人	master husband
しゅしょう		prime minister, premier
しゅっせき（する）	出席（する）	attendance（to attend）
しゅっぱつ（する）	出発（する）	departure（to depart/leave）
しゅと		capital city
しゅふ		housewife
しゅみ		hobby
しゅるい		kind, type
じゅんばん	順番	order, turn
じゅんび（する）		preparation（to prepare）
しょうかい（する）		introduction（to introduce）
しょうがくせい	小学生	primary school student
（お）しょうがつ	正月	the New Year, January
しょうがっこう	小学校	primary school
しょうぎょう		commerce, trade
しょうじき（な）	正直（な）	honest
じょうしき		common sense

じょうず（な）	上手（な）	good at
しょうせつ	小説	novel
しょうたい（する）		invitation（to invite）
じょうだん		joke
じょうば		horse-riding
じょうぶ（な）		healthy, strong
じょうほう		information
（お）しょうゆ		soy sauce
しょうらい	将来	future
ジョギング		jogging
しょくぎょう		occupation
しょくじ（する）	食事	meal（to have a meal）
しょくどう		dining room
しょくぶつ	植物	plant
じょせい	女性	woman, female
しょどう	書道	calligraphy
しらせる	知らせる	to inform, to notify
しらべる		to investigate, to check up
しりょう		（research）material, data
しる	知る	to know
しろ／しろい	白／白い	white
しんかんせん	新幹線	Shinkansen, bullet train
じんこう	人口	population
しんごう		signal, traffic light
じんじゃ	神社	（Shinto）shrine
しんじる		to believe
しんせき／しんるい		family relation, relative
しんせつ（な）		kind
しんとう	神道	shinto
しんぱい（する）	心配（する）	worry（to worry）
しんぶん	新聞	newspaper
しんぶんきしゃ	新聞記者	reporter（for newspaper）

す・ず

すいえい	水泳	swimming
すいか		watermelon
スイッチ		switch
すいている		to be almost empty, not eroded
ずいぶん		fairly, very
（たばこを）すう		to smoke（cigarettes）, inhale
すうじ	数字	number, numeral
すうがく	数学	mathematics
スープ		soup
スーパー		supermarket
スカート（をはく）		skirt（to ware a skirt）
スキー		skiing
すき（な）	好き（な）	like, favourite
－すぎ		-past

－すぎる		to（verb）too much
すく		to become empty
すぐ		at once, immediately, soon
すくない	少ない	few, little
すごい		terrific, great incredible（casual）
すこし	少し	a little, a few
すずしい		cool
－ずつ（ひとつずつ）		each（one each）
すっかり		completely
ずっと		much（more）, all the way, all the time
すっぱい		sour, bitter（e.g. lemon）
ステーキ		steak
すてき（な）		lovely, good looking, nice
すてる		to throw away, discard
ステレオ		stereo
ストライキ／スト		strike（stop work）
すばらしい		wonderful, splendid, gorgeous
スパゲティー		spaghetti
スピード		speed
スプーン		spoon
スポーツ		sport
すみません（でした）。		Excuse me, I'm sorry.
すむ	住む	to live
すむ		to end, to finish, to come to an end
すもう		sumo wrestling
する		to do
ずるい		sly, cunning
すわる		to sit down

せ・ぜ

せ／せい（がたかい／ひくい）		height（to be tall/short）
－せい（オーストラリアせい）		made in...（made in Australia）（suffix）
せいかく		character, personality
せいかつ（する）	生活（する）	way of life, life（to live）
せいき		century
せいこう（する）		success（to succeed）
せいじ		politics
せいじか	政治家	politician
せいせき		marks, results
ぜいたく（な）		luxurious, extravagant
せいと	生徒	pupil, student
せいど		system
せいふ		government
せいふく		uniform
せいぶつ	生物	a living thing, biology
セーター		sweater, jumper
せかい		world
せき		seat

せき		cough
せきゆ		petroleum
せっけん		soup
ぜったい（に）		absolutely
せつめい（する）		explanation（to explain）
せなか	背中	back
ぜひ		by all means
せまい		narrow, smell（space）
ゼロ		zero
（お）せわ（する）	（お）世話（する）	help, assistance（to assist, to look after）
せん		line
せんげつ	先月	last month
せんじつ	先日	the other day
せんしゅ		player, athlete
せんしゅう	先週	last week
せんせい	先生	teacher
－せんせい	－先生	term of address for teachers, doctors, etc.
ぜんぜん…ない		not at all
センター		centre
せんたく（する）		laundry, wash（to wash）
せんでん（する）		publicity（to advertise）
セント		cent
ぜんぶ（で）		all, everything, the whole

そ・ぞ

そう		like that, so
PLAIN FORM＋そう		I am told that..., I hear that...
STEM＋そう		it seems, it looks, it sounds
そういう		uch as, like that, that sort of
そうじ（する）		cleaning（to clean）
ぞうり		zori（thongs for kimono）
そこ		there
そして		and after that, and in addition
そちら・そっち		there, that one, the way
そつぎょう（する）		graduation（to graduate）
そと	外	outside
その		that...
そのうえ	その上	besides, in addition, moreover
そば		beside, nearby
（お）そば		soba（buckwheat noodles）
そふ		grandfather
そぼ		grand mother
そら		sky
それ		that
それから		and after that
それで		and so
それとも		or else
それに		besides, in addition to that

そろそろ		soon, leisurely
そんけい（する）		respect（to respect）
そんな		like that, that sort of
そんなに…ない		not that much

た・だ

－たい		want to...
だい－		（prefix for ordinary numbers）
たいいく		physical education
たいいくかん		gymnasium
ダイエット		diet
だいがく（せい）	大学（生）	university（student）
だいきらい（な）	大きらい（な）	hateful, dislike a lot, detestable
たいくつ（な）		boring
だいじょうぶ	大じょうぶ	alright
だいすき（な）	大好き（な）	like a lot, really like
たいせつ（な）	大切（な）	important, precious
たいそう		physical exercise
だいたい		in general, on the whole
たいてい		usually, normally
だいどころ	台所	kitchen
たいふう		typhoon
だいぶ	大分	greatly, considerably
たいへん（な）	大変	very, terrible, serious, grave, difficult, dreadful
タオル		towel
たかい	高い	high, tall, expensive
だから／ですから		therefore
（お）たく		（someone else's）house
たくさん		a lot, many
タクシー		taxi
だけ		only
だす	出す	to take out, to send, to serve（e.g. tea）
－だす		to start...ing, to begin to...
たすける		to help, assist, give a hand,
ただ		only, simply, free
ただしい	正しい	correct, just, truthful, honest
たたみ		tatami mat
たつ	たつ	to stand up, rise, elapse
たつ		to pass, go by（time）
たっきゅう		ping pong, table tennis
たて（に）		length（vertically）
たてもの	建物	building
たとえば		for example
たな		shelf
たのしい	楽しい	enjoyable, pleasant, joyous, merry
たのしみにする	楽しみにする	to looking forward to
たのしむ	楽しむ	to enjoy

たのむ		to request, ask a favour, beg
たばこ		cigarettes
たぶん	多分	perhaps, probably
たべもの	食べ物	food
たべる	食べる	to eat
たまご		egg
ため（に）		for（the sake of), in order to
だめ（な）		stet, useless, hopeless
ためる		to save, to accumulate
たりる		to be enough, to suffice
だれ		who
たんご	単(たん)語	word, vocabulary
（お）たんじょうび	（お）誕生(たんじょう)日	birthday
だんせい	男性(せい)	male, man
だんち	団(だん)地	apartment/housing complex
だんだん		gradually

ち

ち（がでる）	血(ち)（が出る）	blood（to bleed）
ちいさい／ちいさ（な）	小さい	small, little
チーズ		cheese
チーム		team
ちか	地下	underground, basement
ちかい	近い	near
ちがい		difference
ちがう		to differ, to be different
ちかく（に）	近く（に）	nearby, close by, in the neighbourhood,
ちかてつ	地下鉄(てつ)	subway, underground railway
ちから	力(ちから)	strength, power
ちきゅう	地球(きゅう)	the earth
チキン		（cooked）chicken
ちず	地図(ず)	map
ちち	父	father
ちっとも…ない		not at all, not in the least
ちほう	地方	locality, district
（お）ちゃ	（お）茶(ちゃ)	tea, Japanese tea
ちゃいろ	茶色(ちゃいろ)	brown
ちゃのゆ	茶(ちゃ)の湯(ゆ)	tea ceremony
（お）ちゃわん	（お）茶(ちゃ)わん	teacup, bowl
ちゃんと		properly
－ちゅう／－じゅう	中	during, throughout
ちゅうい（する）		care, attention, caution（to pay attention, to take care, to warn）
ちゅうがく（せい）	中学（生）	junior high school（student）
ちゅうがっこう	中学校	junior high school
ちゅうごく	中国	China
ちゅうしゃ（する）	駐(ちゅう)車する	parking（to park a car）
ちゅうもん（する）		order（to place an order）

－ちょう		block, street
－ちょう	町	town
ちょうど		exactly, just
チョコレート		chocolate
ちょっと		a little bit, for a moment
ちり	地理	geography

つ

(～に) ついて		about, regarding
つうやく (する)		interpreter (to interpret)
つかう	使う	to use
つかれる		to be tired, to be exhausted
つき	月	month, moon
つぎ	次	following, after, next
つく	着く	to arrive
つくえ		desk
つくる	作る	to make
つけもの	漬物	pickles
つける		to switch on, to attach
つごう (がいいわるい)		convenience (convenient/inconvenient)
つち	土	earth, soil
つづく		to continue
つまらない		boring, dull, uninteresting, petty, insignificant
つまり		that is to say
つめたい		cold (water, objects, etc.)
つれていく	つれて行く	to take (someone) along
つれてくる	つれて来る	to bring (someone) along
つとめる		to work, to be employed
(お) つり		change (viz. money)
つゆ		rainy season in Japan
つよい	強い	strong, powerful, brave, courageous

て・で

て	手	hand
(お) てあらい	(お) 手洗い	toilet
T シャツ		T-shirt
ていしょく	定食	set menu
ディスク		disk
ていねい (な)		polite, careful
テキスト		text
テーブル		table
テープ		tape
テープレコーダー		tape recorder
てがみ	手紙	letter
でかける	出かける	to go out
てきとう (な)		suitable, appropriate
できるだけ		as much as possible
でぐち	出口	exit

テクノロジー		technology
デザート		dessert
テスト（する）		test
てつだう	手伝う	to help
デパート		department store
テニス		tennis
でも		but, however
（お）てら	（お）寺	（Buddhist）Temple
でる	出る	to leave, to go out, to come out, to attend
テレビ		television
では／じゃ／じゃあ		Well then...
てん		comma, mark
てんいん	店員	shop attendant
（お）てんき	（お）天気	weather
でんき	電気	electricity
でんしゃ	電車	（electric）train
でんち	電池	battery
でんとう		tradition
でんとうてき（な）		traditional
てんのう	天皇	emperor
でんわ（する／をかける）	電話（する／をかける）	telephone（to telephone）

と・ど

－ど		（counter for times, degrees of temperature）
ドア		door
トイレ		toilet
どう		how, in what way
どうぐ	道具	tools, equipment, gear
どうして		why
どうしても		at any cost, no matter how
とうちゃく（する）	到着（する）	arrival（to arrive）
とうふ		tofu（bean curd）
どうぶつ	動物	animal
どうぶつえん	動物園	zoo
どうも		Thank you.
どうも、すみません		I apologise.
どうやって		how
とうろん（する）		debate（to debate, discuss）
とおい		far away, distant
とおり	通り	street, road
とおる	通る	to pass, to go along
とかい	都会	big city, metropolis
とき	時	time, when
ときどき	時々	sometimes
とくい（な）		good at, one's forte
どくしょ	読書	reading
とくに	特に	especially, in particular
とくべつ（な）	特別（な）	special

とけい	時計	watch, clock
どこ		where
ところ	ところ	place
とし	年	year, age
（お）としより	（お）年寄り	old person
としょかん	図書館	library
とだな		cupboard
とちゅう	途中	on the way to...
どちら／どっち		which one, which way
とっきゅう	特急	special express train
とても		very
どなた		who（polite）
となり		next door, next to
とにかく		anyway, anyhow
どの		which（of ３ or more）
どのくらい／どのくらい		how much, about how many, how long
とめる	止める	to stop
ともだち	友達	friend
ドライブ		drive
ドラマ		drama
とり		bird
とる		to take, to take off, to get
ドル		dollar
どれ		which（of ３ or more）
どんどん		fast rapidly
どんな		what kind of

な

ない		not to exist, not any
ナイフ		knife
なおる		to be fixed, to recover
なか	中	inside, in
なか（がいいわるい）		relationship（get along well/badly）
ながい	長い	long
ながさ	長さ	length
なかなか…ない		hardly, not easily
なかなか		quite
ながら		while doing...
なくなる		to die, to disappear, to be lost
なぜ		why
なつ	夏	summer
なつかしい		nostalgic, remember fondly
など		etc., and so on
ななめ		slant, diagonal
なに／なん	何	what
なま	生	raw
なまえ	名前	name
なみ		wave, surf

－なら		if
ならう		to learn
ならべる		to put side by side
なる		to become
なる		to sound, to ring
なれる		to get used to
なんとなく		somehow or other

に

にあう		to suit
におい		smell
にがい		bitter
にぎやか（な）		lively, be crowed
にく	肉	meat
－にくい		difficult to...
にこにこ（する）		smile（to smile）
にし	西	west
にっき	日記	diary
にほん／にっぽん	日本	Japan
にほんしょく	日本食	Japanese food
にもつ	荷物	luggage
にている		to resemble
にゅうがく（する）	入学（する）	entering a school（to enter a school）
ニュース		news
にわ		garden
にんぎょう	人形	doll
にんき	人気	popularity
にんげん	人間	human being

ぬ

ぬぐ		to take off（shoes, dress, etc.）

ね

（お）ねがい（する）		request（to ask a favour）
ネクタイ		a tie
ねこ		cat
ねだん		price
ねつ		fever, heat
ねむい		sleepy
ねる		to sleep, to go to bed
ねん	年	year

の

のうぎょう		agriculture
のうじょう	農場	farm
ノート		note book, exercise book
のこる		to remain, to be left over
のせる	乗せる	to load, give a lift to

のど		throat
のぼる		to climb, to go up
のみもの	飲み物	drink, beverage
のむ	飲む	to drink
のり		a kind of seaweed
のりかえる	乗り換(か)える	to change（trains, bus, etc.）
のる	乗る	to get on（train, etc.）to ride
のんびり（する）		to take it easy, to relax

は・ば・ぱ

は		tooth
ばあい	場合(あい)	occasion, case
パーティー		party
バーベキュー		barbecue
はい		yes
ハイキング		hike, hiking
はいく		Haiku（Japanese syllable poem）
バイオリン		violin
ハイテクか		technological development
ばいてん	売店	stall, canteen, kiosk
はいる	入る	to enter, to fit into, to join
はがき	葉(は)書	postcard
ばかり		nothing but
はく		to put on（shoes, trousers, etc.）
はくぶつかん	博(はく)物館(かん)	museum
はこ		box
はし		bridge
（お）はし		chopsticks
はじまる		to begin, to start
はじめ		at first
はじめて		for the first time
はじめる		to begin
－はじめる		to start...
はしる	走(はし)る	to run
ばしょ	場所	place, location
パス（する）		to pass（an exam）, to be successful
バスてい		bus stop
バスケットボール		basketball
はずかしい		to be shy, to be ashamed, to be embarrassed
バター		butter
はたらく		to work
パチンコ		pinball machine
はつおん（する）	発音(おん)（する）	pronunciation（to pronounce）
はっきり（する）		clearly（to be clear）
はっぴょう（する）		presentation（to publish, to announce）
はな		nose
はな	花	flower, blossom
はで（な）		showy, flashy

はなし		story
はなす	話	to talk, to speak
はなび	花火	fireworks
はなれる		to part from, to be apart
はは	母	mother
はやい	速(はや)い	quick, fast
はやい	早い	early
はやし	林	woods
はらう		to pay
はる		to put up, to past
はる	春	spring
はれ		clear（whether）
はれる		to clear up
バレーボール		volleyball
－はん	－半	half
ばん	番	one's turn
ばん	晩	evening, night
パン		bread
ハンカチ		handkerchief
ばんぐみ	番組(ぐみ)	program（TV, radio）
ばんごう	番号(ごう)	number
ばんごはん	晩ご飯	evening meal, dinner
はんたい（する）		opposite, opposition（to oppose）
はんつき	半月	half-month
はんとし	半年	half-year
ハンドバッグ		handbag
ハンドル		steering wheel
ハンバーガー		hamburger
はんぶん	半分	half

ひ・び・ぴ

ひ	日	day, sun
ひ	火	fire
ピアノ		piano
ヒーター		heater
ビール		beer
ひがし	東	east
ひく		to look up（in a dictionary）
ひく		to pull
ひく		to play（musical instrument）
ひくい		low
ピクニック		picnic
ひこうき	飛(ひ)行機(き)	aeroplane
ひざ		lap, knee
びじゅつ		arts, fine arts
びじゅつかん		art gallery
ひじょうに		very extremely
ビスケット		biscuit

ひだり	左	left
ビデオ		video
びっくり（する）		surprise（to be surprised）
ひっこす		to move（house）
ひつよう（な）		necessity（necessary）
ひと	人	person
ひどい		terrible
ひとびと	人々（びと）	people
ひとりで	一人で	alone, by oneself
ひま（な）		spare time, free time
びょういん	病院	hospital
びょうき	病気	sickness
（お）ひる	（お）昼	noon
ビル		building
（お）ひるごはん	（お）昼ご飯	lunch
ひるま	昼間	daytime
ひろい	広い	broad, wide, spacious, vast
びん		bottle
ピンク		pink
びんぼう		poor

ふ・ぶ・ぷ

－ぶ		club
ファックス		facsimile
ふえる		to increase
ふうん		Is that so?（informal）
フォーク		fork
プール		swimming pool
ふく		clothes
ふく		to blow, to play（a wind instrument）
ふくざつ（な）		complicated
ふくしゅう（する）		revision（to revise）
ぶた		pig
ふつう		ordinary, generally, commonly
ぶっきょう	仏（ぶっ）教	Buddhism
フットボール		football
ぶつり	物理（り）	physics
ふで		writing brush
ふとい		thick
ふとる		to put on weight
ふとん		futon（Japanese bedding）
ふね		ship, boat
ふべん（な）		inconvenient
ふゆ	冬	winter
ブラウス		blouse
プレゼント（する）		present, gift（to give a present）
（お）ふろ		（Japanese）bath
ふる		to fall（rain, snow, etc.）

ふるい	古い	old（objects）, ancient, stale, old fashioned
ぶん	文	sentence
ぶんか	文化	culture
ぶんがく	文学	literature
ぶんぽう	文法	grammar
ぶんぼうぐ		stationery

へ・べ・ぺ

へいせい		Heisei period
へいわ		peace
へぇ		What? Indeed!（informal）
ページ		page
へた（な）	下手（な）	bad at, unskilful
べつ（の／な）		separate, different
ベッド		bed
へや	部屋	room
へる		to be reduced, to decrease
ベル		bell
へん（な）		strange, odd, unusual, peculiar
べんきょう（する）	勉強（する）	study（to study）
べんごし		lawyer
へんじ（する）		answer, reply, response（to reply, to respond）
（お）べんとう		boxed lunch
べんり（な）		convenient, handy

ほ・ぼ

ほう	方	direction, way
ボーイフレンド		boyfriend
ぼうえき		foreign trade
ほうかご		after school
ぼうし（をかぶる）		cap, hat（ware a hat）
ほうそう（する）		broadcasting（to broadcast）
ほうどう（する）	報道（する）	news, information, report（to report）
ほうりつ		law
ホームステイ		home stay
ほか	外／他	other, other than, besides
ぼく		I, me（informal-used by males）
ほし		star
ほしい		want, wish to have
ポスト		mail box
ホストファミリー		host family
ほそい		thin
ほっとする		to be relieved
ポップ		pop
ホテル		hotel
ほとんど		almost
ほめる		to praise

ほら		Look! There! Hey!
ボランティア		volunteer
ほん	本	book
ほんだな	本棚(だな)	bookshelf
ほんとう（に）	本当(とう)（に）	truth,（really, truly）
ほんや	本屋	bookshop

ま

まあ		well now
まえ	前	the front, before
まがる		to turn
まけ		a defeat, a loss
まける		to be defeated
まご		grandchild
まじめ		serious, conscientious
まず		first of all
まずい		unpalatable
また		again
まだ		not yet, still
まち	町	town, suburb
まちがい		mistake
まちがえる		to make a mistake
まつ	待つ	to wait
まっすぐ		straight
（お）まつり		festival
まで		until, as far as
まで（に）		by（a certain time）
まど		window
まとめ		In sum, conclusion
まとめる		to sum up, to conclude
まなぶ	学ぶ	to learn
まにあう	間(ま)に合う	to be in time
まる		circle, full stop, zero
まるい		round
まわり		environs, around
まわる		to go around, to revolve
まんいん		full, crowded, be packed
まんが		comic
まんなか	真(ま)ん中	centre, middle

み

ミートパイ		meat pie
みえる	見える	to be visible, to be able to see
みがく		to polish
みかん		mandarin
みぎ	右	right
みじかい		short
（お）みず	水	water

みずうみ		lake
（お）みせ	店	shop
みせる	見せる	to show
（お）みそしる		miso soup
…みたい		looks like..., seems...
みち	道	road path
みつける	見付(つ)ける	to find, to spot, to be discover
みどり		green
みなみ	南	south
みみ	耳	ear
（お）みやげ		souvenir, present
みる	見る	to see, to look
ミルク		milk
みな／みんな		all, the whole lot
みなさん		everyone

む

むかえにいく	むかえに行く	to go to meet a person
むかえにくる	むかえに来る	to come to meet a person
むかし		old time, long time ago
むこう		to opposite side, over there, beyond
むしあつい		humid
むずかしい		difficult, hard
むすこ	息(むす)子	son
むすめ		daughter
むだ（な）		waste（wasteful）
むら		village
むらさき		purple
むり（な）		impossible, beyond one's power

め

め	目	eye
めいし	名刺(し)	name card
めがね（をかける／をとる）		glasses（to put on/to take off glasses）
めし	飯	meal, cooked rice（informal－used by male）
めずらしい		uncommon, rare
メニュー		menu
めんきょ（をとる）		licence（to get a licence）
メンバー		member

も

も		also
もう		already, now
もえる		to be on fire
もくてき		purpose, aim
もし		if
もしもし		Hello（on the telephone）
もちろん		of course

もったいない		wasteful
もつ	持つ	to have, to hold
もっていく	持って行く	to take
もってかえる	持って帰る	to take home
もってくる	持って来る	to bring
もっと		more
もどる		to return to the starting point
もの	物	things
もらう		to receive, to be given
もり	森	forest, wood
もん	門	gate
もんだい		problem, question

や

やおや	八百屋	greengrocer
やきゅう		baseball
やく		to bake, to grill
やくす		to translate
やくそく（する）		promise, engagement（to promise）
やくにたつ	役に立つ	to be useful, to be helpful
やさい		vegetable
やさしい		easy, gentle, kind
やすい	安い	cheep, inexpensive
－やすい		easy to...
（お）やすみ	（お）休み	rest, holiday, absence
やすむ	休む	to rest, to go to bed, to be absent
やせる		to loose weight
やっと		at last, finally
やね	屋根	roof
やはり／やっぱり		after all, as expected, as I thought
やま	山	mountain
やめる	止める	to stop（doing some thing）
やむ		to stop（rain, snow）
やる		to give, to do
やわらかい		soft, tender

ゆ

（お）ゆ		hot water
ゆうがた	夕方	early evening
ゆうせんほうそう		cable broadcasting
ゆうびん		mail
ゆうびんきょく		post office
ゆうべ		last night
ゆうめい（な）	有名（な）	famous, well-known
ユーロ		euro
ゆかた		yukata
ゆき	雪	snow
ゆしゅつ（する）	輸出（する）	export（to export）

ゆっくり（する）		slowly（to relax）
ゆにゅう（する）	輸入（する）	import（to import）
ゆび		finger
ゆめ（をみる）	ゆめ（を見る）	sream（to dream）
ゆれる		to rock, to roll, to swing

よ

ようい（する）		preparation（to prepare）
ようじ	用事	things to do, business
ようちえん		kindergarten
ようふく	洋服	（Western）clothes
よく		well, often, frequently
よこ		side, nearby
よこになる		to lie down
よごれる		to become dirty
よてい（する）		program, schedule, plan
よなか	夜中	in the middle of the night
よぶ		to call, to invite
よむ	読む	to read
よやく（する）		appointment, reservation（to make an appointment/reservation）
－より		than...
よる	夜	night
－によると		according to...
よろこぶ		to be pleased
(～に）よろしく		How do you do?（Say hello to...）
よわい		weak, delicate, faint

ら

らく（な）		comfort（easy, comfortable）
ラグビー		rugby
－らしい		seems, like
ラジオ		radio

り

りか		science（primary/junior high school subject）
リサイクル		recycle
りそう		ideal
りゆう		reason
りゅうがく（する）	留学（する）	study abroad（to study abroad）
りゅうがくさい	留学生	overseas student
りよう		usage（to use）
りょう		dormitory
りょうきん	料金	fee, charge
りょかん	旅館	（Japanese）Hotel
りょこう（する）	旅行（する）	travel（to travel）
りょこうしゃ	旅行者	traveller

（ご）りょうしん		parents
りょうほう		both
りょうり（する）		cuisine（to cook）
りんご		apple

る

るす		not at home

れ

れい		example
れいぞうこ		refrigerator
れきし		history
レストラン		restaurant
レポート		report
レモネード		lemonade
れんが		brick
れんしゅう（する）		practice（to practise）
れんしゅうもんだい		exercises
れんらく（する）		contact（to contact）

ろ

ろうか		corridor, passage
ローマじ	ローマ字	roman letter
ロッカー		locker
ロック		rock music

わ

わあ		Oh! Wow!
ワープロ		word processor
ワイシャツ		business shirt
わえいじてん	和英辞典	Japanese-English dictionary
わかい		young
わかす		to boil（water）
わかる	分かる	to understand
わける	分ける	to divided, to distinguish
わすれる		to forget, to leave behind
わすれもの	忘れ物	lost property
わた（く）し	私	I, me
わたす		to hand over, to deliver
わたる		to cross
わらう		to laugh, to smile
わるい		bad, ill, wrong

国名・地名

アジア	Asia
アフリカ	Africa
アラブ	Arab
みなみアメリカ（南アメリカ）	South America
ヨーロッパ	Europe
アメリカ	America, The United States
イギリス	England, U.K.
イタリア	Italy
イラク	Iraq
イラン	Iran
インド	India
インドネシア	Indonesia
オランダ	Holland
カナダ	Canada
かんこく（韓国）	Korea
カンボジア	Cambodia
ギリシャ	Greece
シンガポール	Singapore
スペイン	Spain
タイ	Thailand
たいわん	Taiwan
ドイツ	Germany
ちゅうごく（中国）	China
ニュージーランド	New Zealand
フランス	France
ブラジル	Brazil
フィリピン	The Philippines
ベトナム	Vietnam
ポルトガル	Portugal
ホンコン	Hong Kong
みなみアフリカ（南アフリカ）	South Africa
ロシア	Russia
オーストラリア	Australia
ニューサウスウェールズ	NSW
クイーンズランド	Queensland
ヴィクトリア	Victoria
タスマニア	Tasmania
メルボルン	Melbourne
アデレード	Adelaide
パース	Perth
キャンベラ	Canberra
ダーウィン	Darwin
ブリスベン	Brisbane
ケアンズ	Cairns
ホバート	Hobart
シドニー	Sydney
にほん／にっぽん（日本）	Japan

ほっかいどう（北海道）
ほんしゅう（本州）
きゅうしゅう（九州）
しこく（四国）
おきなわ
とうきょう（東京）
うえの（上野）
ぎんざ（銀座）
しんじゅく（新宿）
よこはま
なごや（名古屋）
きょうと（京都）
なら（奈良）
おおさか（大阪）
こうべ（神戸）
ひろしま（広島）
ながさき（長崎）
ふくおか

すうじ　Numerals

いち	一	1
に	二	2
さん	三	3
し／よん	四	4
ご	五	5
ろく	六	6
しち／なな	七	7
はち	八	8
く／きゅう	九	9
じゅう	十	10
じゅういち	十一	11
じゅうに	十二	12
にじゅう	二十	20
きゅうじゅうきゅう	九十九	99
ひゃく	百	100
せん	千	1,000
いちまん	一万	10,000
ひゃくまん	百万	1,000,000
いっせんまん	一千万	10,000,000
いちおく	一億	100,000,000

じょすうし　Auxiliary numerals

Things（〜つ）

ひとつ	一つ	1
ふたつ	二つ	2
みっつ	三つ	3
よっつ	四つ	4
いつつ	五つ	5

むっつ	六つ	6
ななつ	七つ	7
やっつ	八つ	8
ここのつ	九つ	9
とお	十	10

Person（〜人）

ひとり	一人	1 person
ふたり	二人	2 people
さんにん	三人	3 people
よにん	四人	4 people
ごにん	五人	5 people
ろくにん	六人	6 people
ななにん／しちにん	七人	7 people
はちにん	八人	8 people
きゅうにん／くにん	九人	9 people
じゅうにん	十人	10people

Things（e.g. apple, eggs）（〜こ）

いっこ	一こ	1
にこ	二こ	2
さんこ	三こ	3
よんこ	四こ	4
ごこ	五こ	5
ろっこ	六こ	6
ななこ	七こ	7
はちこ／はっこ	八こ	8
きゅうこ	九こ	9
じゅっこ／じっこ	十こ	10

Days of the week（〜曜日）

にちようび	日曜日	Sunday
げつようび	月曜日	Monday
かようび	火曜日	Tuesday
すいようび	水曜日	Wednesday
もくようび	木曜日	Thursday
きんようび	金曜日	Friday
どようび	土曜日	Saturday

Days of the month（〜日）

ついたち	一日	1 st day of the month
ふつか	二日	2 nd
みっか	三日	3 rd
よっか	四日	4 th
いつか	五日	5 th
むいか	六日	6 th
なのか	七日	7 th
ようか	八日	8 th

ここのか	九日	9 th
とおか	十日	10th
じゅういちにち	十一日	11th
じゅうににち	十二日	12th
じゅうよっか	十四日	14th
はつか	二十日	20th
にじゅうよっか	二十四日	24th

Months（～月）

いちがつ	一月	January
にがつ	二月	February
さんがつ	三月	March
しがつ	四月	April
ごがつ	五月	May
ろくがつ	六月	June
しちがつ	七月	July
はちがつ	八月	August
くがつ	九月	September
じゅうがつ	十月	October
じゅういちがつ	十一月	November
じゅうにがつ	十二月	December

Counters, suffixes and prefixes（じょすうし、せっとうご、せつびご）

～いん		employees
～か		lesson number
～かい		floors
～かい		frequency
～かげつ	～か月	months
～かん	～間	period of time or duration
～がっき	～学期	school terms
～がつ	～月	months
～ぎょう	～行	counter for lines
～けん／げん		houses
～こ		small/round objects
～ご	～語	language
～さい		age
～さつ		books
～さん（さま）		names（polite）
～しゅうかん	～週間	number of week
～じ	～時	o'clock
～じかん	～時間	hours
～じかんめ	～時間目	the hours
～じん	～人	nationality
せん～	先	prefix last
～たち／だち		suffix plural for people
～だい		machines
～ちゃん		suffix for child's name
～つ		things in general

～てき		adjectives
～てん		marks
～にち	～日	days
～にち／か	～日	days
～ねん	～年	years
～ねんせい	～年生	year level
～はい／ばい／ぱい		glass of...
～はく／ぱく		overnight stays
～ばい		multiplication/times
～ばん	～番	numbers
～ばんめ	～番目	order
～ひき／びき／ぴき		animals
～びょう		seconds
～ふん／ぷん／ぶん		minutes/part/share
～ぶ		part of group
～ほん／ぽん／ぼん	～本	counter, long thin object
～まい		flat objects
まい～		prefix every
～め	～目	series
～や	～屋	suffix for shops
らい～	来	prefix next
～り／～にん	～人	people
～キロ／キログラム		kilogram
～キロ／キロメートル		kilometres
～グラム		gram
～センチ		centimetres
～セント		cent
～トン		weight（tonne）
～ドル		dollar
～ミリ		millimetres
～メートル		metres

文法

生徒は以下の文法項目を理解し、使用することが求められる。

動詞と形容詞の活用形のまとめ

普通形／プレーンフォーム

動　詞	形容詞	コピュラ（だ）
例　たべる かく	〜い：あかい 〜な：しずかな	だ：ほんだ
〜た：たべた かいた	〜かった：あかかった 〜だった：しずかだった	だった：ほんだった
〜よう：たべよう 〜おう：かこう		
	〜いだろう：あかいだろう 〜だろう：しずかだろう	だろう：ほんだろう
〜ない：たべない かかない	〜くない：あかくない 〜では（じゃ）ない： しずかでは（じゃ）ない	では（じゃ）ない： ほんでは（じゃ）ない
〜なかった：たべなかった かかなかった	〜くなかった：あかくなかった 〜では（じゃ）なかった： しずかでは（じゃ）なかった	では（じゃ）なかった： ほんでは（じゃ）なかった

丁寧形（です／ますフォーム）

動　詞	形容詞	コピュラ（です）
〜ます：たべます かきます	〜いです：あかいです （〜な）：しずかです	です：ほんです
〜ました：たべました かきました	〜かったです あかかったです 〜でした：しずかでした	でした：ほんでした

動　詞	形容詞	コピュラ（です）
～ましょう：たべましょう かきましょう		
	～いでしょう： おもしろいでしょう ～でしょう：しずかでしょう	でしょう： ほんでしょう
～ません：たべません かきません	～くないです：あかくないです ～くありません： あかくありません ～ではありません： しずかではありません ～じゃないです： しずかじゃないです	では（じゃ）ありません： ほんでは（じゃ）ありません
～ませんでした： たべませんでした かきませんでした	～くなかったです： あかくなかったです ～くありませんでした： あかくありませんでした ～ではありませんでした： しずかではありませんでした ～じゃなかったです： しずかじゃなかったです	では（じゃ）ありませんでした： ほんでは（じゃ）ありませんでした
～て：たべて かいて	～くて：やすくていい ～で：しずかできれい	
	～くに：はやくしなさい あつくなる ～に：しずかにしなさい きれいになった	

～て形

形	用　法	例　文
～て	文の順序	町に行ってえいがを見ます。
～て　＋　ください	丁寧な依頼	今日は早く帰ってください。
～て　＋　いる	動作が進行している状態	私はテレビを見ています。 あの人はふとっています。
～て　＋　みる	試み [try doing, do to find out]	日本語を話してみます。
～て　＋　しまう	動作の完了を強調 [finish,doing, do completely]	あの人は一時間でその本を読んでしまいました。
～て　＋　くる	[bring]	プレゼントを持ってきました。
～て　＋　いく	[take/carry]	かさを持っていきます。
～て　＋　はいけない	禁止 [must not]	まだ帰ってはいけません。
～て　＋　もいい	許可 [may]	もう帰ってもいいです。
～て　＋　も	譲歩 [even if, even though]	たくさん食べてもふとりません。 高くても買います。
～て　＋　から	動作の順序 [after doing]	いつも勉強してからテレビを見ます。

～て形　＋　授受動詞

形	用　法	例　文
～て　＋　くださる	目上の人が私に恩恵を施す	先生が本を読んでくださいました。
～て　＋　くれる	人が私に恩恵を施す	友だちが日本から本をおくってくれました。
～て　＋　あげる	（対等関係の）人に恩恵を与える	買ってあげましょうか。
～て　＋　もらう	人から恩恵を受ける	友だちに作ってもらいました。
～て　＋　やる	人に恩恵を与える	弟のしゅくだいをみてやります。
～て　＋　いただく	目上の人から恩恵を受ける	先生に買っていただきました。

～た、～たら、～たり形

形	用　法	例　文
～た　＋　ほうがいい	助言 [it is advisable to do]	勉強したほうがいいです。
～た　＋　ことがある	経験	大阪（おおさか）に行ったことがありますか。
～た　＋　あとで	形容詞節ー時間	食事をしたあとでテレビを見ました。
～たり　～たり	２つ以上の動作、事態の代替発生	日曜日には家でテレビを見たり、本を読んだりします。 あつかったり、さむかったり、たいへんです。

〜たら	条件または時間的条件 [if, when]	たろうさんが来たら、知らせてください。 分からなかったら聞いてください。 おいしくなかったら、食べなくてもいいです。

普通形（Plain Form=PF）ー現在

形	**用　法**	**例　文**
PF ＋ そうです	伝聞 [it is said, I here]	かれは日本へ帰るそうです。 上手だそうです。
PF ＋ つもりです	意図	あした行くつもりです。
PF ＋ とき／あいだ（に）まえ（に）	時間	私が行ったとき、あの人はいませんでした。 日本にいるあいだに何をしますか。 出かけるまえに電話します。
PF ＋ より	比較	テレビを見るより本を読むほうが楽しいです。
PF ＋ かもしれません	可能性	来月行くかもしれません。
PF ＋ でしょう	見込み	あしたは雪になるでしょう。
PF ＋ と	引用	田中さんは三時に来ると言いました。 京都へ行こうと思っています。
PF ＋ ため	目的、成果	いい学校に入るためにいっしょうけんめい勉強しています。
PF ＋ ように	目的、成果、要請	かぜをひかないようにくすりを飲みました。 私に電話するように言ってください。
PF ＋ し	[not only...but also]	かれはおさけも飲むしたばこもすいます。 私の友だちはやさしいし、あたまもいいです。
PF ＋ 名詞	関係詞節	田中さんの／が読んだ本 あした見るえいが
PF ＋ の／んです	説明、明確化	あしたテストがあるんです。
PF ＋ うち	時間 [while, still, before]	雨がふらないうちに帰りましょう。
PF ＋ らしいです	様態（そのように見える）[apparently, supposedly]	だれかがここでキャンプをしたらしいです。

〜ない形

形	用　法	例　文
〜ない　＋　ほうがいい	助言 [it is advisable not to do]	コーラはあまり飲まないほうがいいです。
〜なければならない	強制・義務 [must]	八時までに学校に行かなければなりません。

〜ます形の語幹（BASE）

形	用　法	例　文
BASE　＋　なさい	丁寧な命令	本を読みなさい。
BASE　＋　そうです	様態（そのように見える） [appears, looks like]	雨がふりそうです。 おいしそうですね。
BASE　＋　かた	方法	ケーキの作り方を教えてください。
BASE　＋　にくい	[difficult to...]	この字は読みにくいです。
BASE　＋　やすい	[easy to...]	このペンは書きやすいです。
BASE　＋　たい	願望 [wish, want to]	ジャズを／が聞きたいです。
BASE　＋　たがる	願望 （２人称、３人称についての言及）	かれは日本に行きたがっています。
BASE　＋　たいとおもって	願望 [I think, I would like to]	げんじ物語を／がよみたいと思っています。
BASE　＋　に	目的	日本語を勉強しに日本へ行きます。
BASE　＋　ながら	同時進行する動作	ラジオを聞きながら新聞を読みます。

助詞

名詞と助詞

助　詞	機　能	例　文
は	主題マーカー	あの人はよく町へ行きます。
	対比	本はありません。
が	主語	だれがそう言いましたか。
	従属節内の主語	たか子さんが作ったケーキはおいしかったです。
	直接目的語	りんごが好きです。 本が読めます。

助　詞	機　能	例　文
の	所有 [of, 's]	私の本です。
	所有代名詞、所有格名詞	それはあの人のです。
	場所	つくえの上にあります。
	形容詞相当句を作る	日本の車です。
	形容詞相当節の中の「が」の代替	すずきさんの書いた本を読みました。
に	存在する場所 [in, at, on]	ここに新聞があります。
	目的地 [to, into, onto]	あした町に行きます。
	間接目的語	先生にあげてください。
	時を示す	三時半に行きましょう。
	目的	えいがを見に町へ行きます。
へ	方向 [to]	東京へ行きます。
		右へまがってください。
を	直接目的語	本を読みます。
	移動の経過地 [along, through]	道を歩きます。
で	動作の場所	学校でならいました。
	手段	おはしで食べます。
と	連結詞 [and]	本とざっしを買いました。
	と一緒に [with a person]	友だちと海に行きました。
や	連結詞 [and etc.]	本やざっしを買いました。
か	連結詞 [or]	今日かあしたしましょう。
	疑問詞と併用して	だれか来ましたか。
も	繰り返し [too, also]	私も行きます。
	[both]	ペンもインキもあります。
	[neither...nor]	犬もねこもいません。
	[none, not any]	少しもありません。
	適切な疑問詞と併用して	何回も行きました。
	適切な疑問詞と否定表現とを併用して	だれも来ません。

助　詞	機　能	例　文
から	ある時点から	三時から四時までです。
	ある地点から	イタリアから来ました。
まで	ある時点まで	昼まではたらきます。
	ある地点まで	駅まで歩きます。

程度／限度を表す語

語	機　能	例　文
ごろ	およその時点	姉は三時ごろ帰ります。
ぐらい／くらい	およその量／時間／長さ	五百グラムぐらいでけっこうです。
しか	限度＋否定	千円しかありません。
だけ	限度 [only]	一人だけです。
より	比較級 [than]	車はバスより早いです。
いちばん	最上級 [the most]	これが一番好きです。

接続詞（文末の動詞ではない動詞に続けて）

接 続 詞	機　能	例　文
が	譲歩 [but]	ひらがなは知っていますが、漢字は知りません。
から	原因 [because, since]	つかれたからもうねます。
ので	原因、理由 [so]	雨がふったので行きませんでした。
と	条件 [when]	雨がふるとすずしくなります。
	引用	あの人は「分かりません。」と言いました。
	間接の引用	あのひとは分からないと言いました。
のに	譲歩	雨がふったのに来てくれました。

名詞化する語

名詞化する語	機　能	例　文
の	名詞化 [the one]	赤いのをください。
こと	名詞化	PF　＋　ことができる／ PF　＋　ことがある／ PF　＋　ことにする／ PF　＋　ことになる

終助詞

助　詞	機　能	例　文
ね／ねえ	付加疑問 [isn't it?]	いいお天気ですね。
よ	確実さ	ほんとうにいいえいがですよ。
	柔らかい説得	えいがに行こうよ。
か	質問マーカー	だれですか。
の	柔らかい質問マーカー	どこへ行くの？
	柔らかい文末	かれはあした来ないの。
わ	軽い強調（女性）	きれいだわ。

ユニット１

学習領域

ユニット１－４に共通の学習領域については８～57ページに詳細を記載してある。

達成目標（Outcomes）

このユニットでは、生徒は３つの達成目標（outcomes）を達成することが要求される。

達成目標（Outcome）１

このユニットを修了した生徒は、個人の経験に関して相手と口頭であるいは書き言葉でやりとりをはじめ、そのやりとりを維持することができるようになる。

主要な知識と言語技能

この達成目標（outcome）１を達成するために、生徒は以下の知識と言語技能があることを示さなければならない。

・過去、現在、未来のできごとや経験（現実のことと空想上のことの両方を含む）を描写、説明、コメントするための構文を使用する。
・テーマに適切な語彙と表現を使用する。
・インフォーマルな会話／手紙文の慣例に従う。
・様々な質問と答えの形式を使用する。
・会話を開始し、維持し、終了する。
・適切なイントネーション、アクセント、声の高さ／スペリング、句読点を使用する。
・間違いを言い直す／違う言葉で言い換える／確認のための質問をする。
・会話で話す番を交代する時の合図・きっかけがわかり、反応する。
・私信、ファックス、電子メールを手書きで書いたり、またはワープロで書いたりする。
・対面して話を交わし、さらにボイスメールや電話でコミュニケーションする。
・お辞儀などの文化的に適切な非言語コミュニケーションを知っていて、それを使うことができる。
・会話中に適切なフィラー（相づち）を使用する。

・与えられた文脈、目的、聞き手にふさわしい応答をする。
・平仮名、片仮名といくつかの漢字を理解し、使用する。
・です／ます体で応答する。

達成目標（Outcome）2

このユニットを修了した生徒は、口頭でのテキストを聞きあるいは書かれたテキストを読んで、そこから情報を得ることができるようになる。

主要な知識と言語技能

この達成目標（outcome）2を達成するために、生徒は以下の知識と言語技能があることを示さなければならない。

・このユニットで学習したトピックに関係のある語彙、構文と内容についての知識を用いる。
・語の形成（熟語など）、英語などを語源とする語（外来語）、文法標識（助詞など）に関してよく使われるパターンを理解し、これを使って意味を推察する。
・各種のテキストをそれに固有の形式・慣例に関する知識を用いて読む／聞く。
・平仮名、片仮名、いくつかの漢字で書かれたテキストを読む。
・主要な論点とそれを裏付ける点とを文中から見つける。
・テキストの各部分から抽出した項目を整理したり分類したり関連付けたりする。
・細部の項目を理解すると共に、全体的な理解をしていることを示す。
・読み直したり、見出しをつけたり、辞書を参照することによって、意味を理解しそれを確認する。
・普通形（プレーンフォーム）の話し言葉あるいは書き言葉の知識を用いて読む／聞く。

達成目標（Outcome）3

このユニットを修了した生徒は、現実あるいは空想上の経験を取り上げたテキストに対して自分自身の考えで応答をすることができるようになる。

主要な知識と言語技能

この達成目標（outcome）3を達成するために、生徒は以下の知識と言語技能があることを示さなければならない。

・できごとや経験について、説明する、描写する、比較する、コメントを述べる、という表現機能の構文を使用する
・反復や対比などの簡単な文体上の技術を使用する
・いろいろな経験、意見、考えを要約したり説明したり比較したり違いをあきらかにしたりする
・考えと感情を推測する
・考え、できごと、人物を関連付ける
・関連資料を利用する
・主要な考え、できごと、行為の発生した順序を確認する
・テキストの様々な側面について、自身のコメント／見方を述べる
・聞き手、目的、文脈にふさわしい応答をする

評価

ユニット修了の合否判定は、生徒が各ユニットで指定されている一連の達成目標（outcomes）に到達したことを実際に示せるかどうかによってなされる。この決定は、該当ユニットで指定されている評価タスクを生徒がいかに総合的に実行できるかを教師が評価し、それに基づいてなされる。

各達成目標（outcome）に挙げられている「主要な知識と言語技能」は、コースを設計したり学習活動を作成したりする際の指針として使用されるべきものである。「主要な知識と言語技能」はチェックリストのような性質のものではなく、そのような方法で使うことは、達成目標（outcome）を達成したか否かを判断するために必要でないばかりでなく、望ましいことでもない。「主要な知識と言語技能」の各要素はそれぞれ別々に評価されるべきものではない。

評価タスクは、通常の授業における指導と学習プログラムの一部でなければならず、評価タスクがそのプログラム内での生徒の作業量に対して過度に負担を増やすようなことがあってはならない。評価タスクは授業中に教師の監督のもとで行わなければならない。

達成目標（outcomes）１、２、３が達成できたか否かの実証は、いくつかの選ばれた評価タスクを生徒がどのようにして実行したかに基づいてなされるべきものである。教師は、選んだタスクが達成目標（outcomes）に見合った範囲と要求をもつものであることを確認し、また、ユニット学習期間内に３つの達成目標（outcome）すべてを扱うという点を確認しなければならない。

下に挙げられているものの中から、合計４つのタスクを選ぶこと。

達成目標（Outcome）１

・インフォーマルな会話

あるいは

・個人的な手紙／電子メール／ファックスへの返答

達成目標（Outcome）２

・口頭のテキスト（例えば、会話、インタビュー、放送）を聞き、情報を得て、日本語または英語でメモ、図表あるいは表を完成する。

および

・書かれたテキスト（例えば文章の引用、広告、手紙）を読み、情報を得て、日本語または英語でメモ、図表あるいは表を完成する。

達成目標（Outcome）３

・口頭発表

あるいは

・批評／論評

あるいは

・論文／論説

達成目標（outcomes）１と３のために選択された評価タスクについては、生徒が日本語で回答することが要求される。達成目標（outcome）２で求められている２つのタスクのうち１つは日本語で、１つは英語で

答えなければならない。このユニットを学習している間に、話す言語技能と書く言語技能の両方を評価しなければならない。したがって、例えば、達成目標（outcome）１の評価のために口頭での評価タスクが選ばれた場合には、達成目標（outcome）３の評価のためには書くタスクが選ばれる（あるいはこの逆)、という具合にすること。

ユニット2

学習領域

ユニット1－4に共通の学習領域については8～57ページに詳細を記載してある。

達成目標（Outcomes）

このユニットでは、生徒は3つの達成目標（outcome）を達成することが要求される。

達成目標（Outcome）1

このユニットを修了した生徒は、仕事などで必要な調整・手配をしたり売買の取引を遂行したりする口頭でのあるいは書面でのやりとりに参加することができるようになる。

主要な知識と言語技能

この達成目標（Outcome）1を達成するために、生徒は以下の知識と言語技能があることを示さなければならない。

・助言や援助を求める／与える、提案する、説明する、同意する、異議を唱える、などの表現のための構文を使用する。
・テーマに合った語彙と表現を使用する。
・交渉／商取引で使われるフィラー、確認の表現、定型表現を使用する。
・段取りを決め、合意し、決定を下す。
・品物、サービス、公開情報を入手したり提供したりする。
・必要に応じて相手とのやりとりを開始し、維持し、指揮し、終了する。
・例と根拠を示して、自身の議論を支え、相手を説得する。
・タスクに与えられた文脈、目的、聞き手にふさわしい応答をする。
・です／ます体で応答する。
・平仮名、片仮名、いくつかの漢字を理解し、使用する。

達成目標（Outcome）2

このユニットを修了した生徒は、口頭でのテキストを聞き、あるいは書かれたテキストを読んで、そこから情報を引き出し使うことができるようになる。

主要な知識と言語技能

この達成目標（outcome）２を達成するために、生徒は以下の知識と言語技能があることを示さなければならない。

・このユニットで学習するトピックに関係のある語彙、構文、内容を理解し、使用する。
・言語上、文脈上の特徴から意味を推論する。
・情報や考えを分類したり比較したり予測したりする。
・異なったテキストにあらわされた考えや情報を要約したり説明したり対立点を明らかにしたりする。
・主張や意見や考えを推察する。
・ある種類のテキストから情報や考えを引き出し、別の種類のテキストに再編成する。

達成目標（Outcome）3

このユニットを修了した生徒は、実際の、あるいは空想上の経験を書き言葉あるいは話し言葉で表現できるようになる。

主要な知識と言語技能

この達成目標（outcome）３を達成するために、生徒は以下の知識と言語技能があることを示さなければならない。

・テキストの種類（例えば日記、物語）に固有の形式・慣例を適用する。
・できごとや経験について描写したり詳述したり熟考したり順序だてて語ったりするための構文を使用する。
・トピックに適した一連の語彙と表現を使用する。
・主要な考え／できごとを適切な順に並べる文章や、考えを論理的に展開する文章を構成する。
・タスクに与えられている文脈、聞き手、目的に適うように書いたり話したりする。
・文や段落のレベルで、いくつかの考えをうまくつなぐため、接続詞を使用する。
・平仮名・片仮名といくつかの漢字を手書きで書いたり、ワープロで書いたりする。

評価

ユニット修了の合否判定は、生徒が各ユニットで指定されている一連の達成目標（outcomes）に到達したことを実際に示せるかどうかによってなされる。この決定は、該当ユニットで指定されている評価タスクを生徒がいかに総合的に実行できるかを教師が評価し、それに基づいてなされる。

各達成目標（outcome）に挙げられている「主要な知識と言語技能」は、コースを設計したり学習活動を作成したりする際の指針として使用されるべきものである。「主要な知識と言語技能」はチェックリストのような性質のものではなく、そのような方法で使うことは、達成目標（outcome）を達成したか否かを判断

するために必要でないばかりでなく、望ましいことでもない。「主要な知識と言語技能」の各要素はそれぞれ別々に評価されるべきものではない。

評価タスクは、通常の授業内の指導と学習プログラムの一部でなければならず、評価タスクがそのプログラム内での生徒の作業量に対して過度に負担を増やすようなことがあってはならない。評価タスクは授業中に教師の監督のもとで行わなければならない。

達成目標（outcomes）１、２、３が達成できたか否かの実証は、いくつかの選ばれた評価タスクを生徒がどのようにして実行したかに基づいてなされるべきものである。教師は、選んだタスクが達成目標（outcome）に見合った範囲と要求をもつものであることを確認し、また、ユニット学習期間内に３つの達成目標（outcomes）すべてを扱うという点を確認しなければならない。

下に挙げられているものの中から、合計４つのタスクを選ぶこと。

達成目標（Outcome）１

・フォーマルな手紙、ファックス、あるいは電子メール、

あるいは

・ロールプレー

あるいは

・インタビュー

達成目標（Outcome）２

・口頭のテキスト（例えば、会話、インタビュー、放送）を聞いて、その情報と考えを異なる種類のテキストで再編成する

および

・書かれたテキスト（例えば、文章の引用、広告、手紙）を読んで、その情報と考えを異なる種類のテキストで再編成する

達成目標（Outcome）３

・日記

あるいは

・自分自身のことについての報告

あるいは

・短い物語

使われるテキストは日本語のテキストであり、生徒は選ばれた評価タスクのすべてに対して日本語で回答しなければならない。このユニットを学習している間に、話す言語技能と書く言語技能の両方を評価しなければならない。したがって、例えば、達成目標（outcome）１の評価のために口頭での評価タスクが選ばれた場合には、達成目標（outcome）３の評価のためには書くタスクが選ばれる（あるいはこの逆）、という具合にすること。

ユニット3と4

詳細研究（Detailed Study）

生徒は、ユニット３と４を学習する間に「詳細研究」に着手し進行させなければならない。

生徒は、口頭試験の第２部「話し合い」の時間に「詳細研究」で学んだことを試験官と話し合うことを要求される。

「詳細研究」のための教室での学習時間は、ユニット３と４の学習期間中に約15時間を充てることが望ましい。

「詳細研究」は、９ページの表中の指定トピック（１つあるいはそれ以上）に関係のあるサブトピックにもとづいて行われなければならない。サブトピックはこの表から選んでもよいが、他のサブトピックを選んでもよい。

クラス全体が１つのサブトピックを選んでもよい。各生徒がコースワークの評価タスクや、口頭試験の第２部「話し合い」において、個々に異なる意見を述べることができるよう、さまざまな興味をそそることや考え方を取り込めるような幅広いサブトピックを選択することが重要である。もう１つの方法として、生徒１人１人あるいは何人かのグループが異なるサブトピックを選ぶことも可能である。

学校でおこなわれる６つのコースワーク評価タスクのうち１つないし２つのコースワーク評価タスクは、「詳細研究」に焦点をあわせたものである必要がある。「詳細研究」の評価タスクは、日本語を話す社会の言語と文化についての理解を評価することを目的とすべきであり、70～71ページに記載されているユニット４　の達成目標（outcome）２の成果の評価のためのタスクから選ばなければならない。サブトピックとテキストも、生徒がユニット４の達成目標（outcome）２と関連のある知識や言語技能の学習に集中できるように配慮して選ばなければならない。

種々のテキストを通して言語と文化を学ぶ

詳細研究は、選ばれたサブトピックに関する多様な口頭もしくは書かれたテキストを通して、日本語を話す社会の言語と文化の諸相を探求し比較検討することを生徒に可能ならしめるものである。これによって生徒は例えば、歴史上の問題、現代社会の様相、日本社会が受け継いできた文学芸術遺産などについての知識や理解を深めることができるだろう。この研究の基礎となるテキストには、長編映画、短編映画、短編小説、歌、新聞記事、電子テキスト、ドキュメンタリー、音楽、絵画、口述歴史資料などが考えられる。選択され

たテキストの長さは、テキストの種類、内容の濃さ、そして複雑さの程度によって変わるだろう。生徒がサブトピックを充分に深く掘り下げて探求し、そのサブトピックに関する達成目標（outcome）に到達できるようにするためには、少なくとも３つの異なる種類のテキストを選択することが望ましい。これらのテキストには、書かれたテキストだけではなく聴覚的、視覚的なテキストが含まれてもよい。

VET オプションで言語と文化を学ぶ

VET（職業教育訓練－Vocational Education and Training）オプションコースを開設希望の学校は、VCAA LOTE VET　別冊を参照のこと。

ユニット3

学習領域

ユニット１－４に共通の学習領域については８～57ページに詳細を記載してある。

達成目標（Outcomes）

このユニットでは、生徒は３つの達成目標（outcomes）を達成することが要求される。

達成目標（Outcome）１

このユニットを修了した生徒は、独力で書いたり話したりして自分の考えを表現することができるようになる。

主要な知識と言語技能

この達成目標（outcome）１を達成するために、生徒は以下の知識と言語技能があることを示さなければならない。

・過去あるいは現在の出来事あるいは経験に焦点を絞った自分自身に関するあるいは空想のテキストを作り出す。

・様々な種類のテキストを使用し、聞き手、文脈、目的に応じて言葉を変える。

・考えを整理し、順序立てる。

・反復、質問、感嘆などの簡単な文体技術を使用する。

・辞書を含む参考資料を適切に利用する。

達成目標（Outcome）２

このユニットを修了した生徒は、口頭のテキストから得た情報を分析したり使用したりできるようになる。

主要な知識と言語技能

この達成目標（outcome）２を達成するために、生徒は以下の知識と言語技能があることを示さなければならない。

・ある情報の要旨を伝達したり、そこから要点や論理の裏付け、詳細なことがらを把握したりする。
・文脈や用語の選択、イントネーションから、主張、態度、感情を推察する。
・反復や口調などの言語使用域と文体的特徴に関する理解を示す。

達成目標（Outcome）3

このユニットを修了した生徒は、相手と情報、意見、経験の交換をすることができるようになる。

主要な知識と言語技能

この達成目標（outcome）３を達成するために、生徒は以下の知識と言語技能があることを示さなければならない。

・相手と意見や考えを交換したり正当性を主張したりする。
・過去、現在、将来の経験の様々な局面について描写したりコメントを述べたりする。
・援助や助言を求めたり提供したりする。
・聞き手がよく知っている人か知らない人かに応じて適切な言語使用域を選ぶ。
・様々な質問形式を使用する。
・適切なイントネーション、アクセント、書き方、句読点を使用する。
・相手に意味を確認したり、言い間違いを直したり、言葉を言い換えたりして、コミュニケーションを維持する。
・応答のための言葉（相づち）を使用する。

評価

ユニット修了の合否判定は、生徒が各ユニットで指定されている一連の達成目標（outcomes）に到達したことを実際に示せるかどうかによってなされる。この決定は、該当ユニットで指定されている評価タスクを生徒がいかに総合的に実行できるかを教師が評価し、それに基づいてなされる。VCAA は「評価の手引き」を発行する。この手引きには、評価タスクに関する助言と評価の際に生徒に期待すべき項目が記載される。

各達成目標（outcome）に挙げられている「主要な知識と言語技能」は、コースを設計したり学習活動を作成したりする際の指針として使用されるべきものである。「主要な知識と言語技能」はチェックリストのような性質のものではなく、そのような方法で使うことは、達成目標（outcomes）を達成したか否かを判断するために必要でないばかりでなく、望ましいことでもない。「主要な知識と言語技能」の各要素はそれぞれ別々に評価されるべきものではない。

到達レベルの評価

生徒のユニット３の到達レベルは、学校でのコースワークの評価と２回の学年末試験によって判定される。

最終評価に対する配点

学校でのユニット３のコースワークの評価は、「学習評価得点（study　score）」の25パーセントの配点となっている。

ユニット３と４の到達レベルも２回の学年末試験によっても評価され、これは、「学習評価得点」の50パーセントの配点となっている。

学校でのコースワークに対する評価

教師は、生徒の到達レベルの評価を示す得点を、VCAA に提出する。

得点は、次表に示されたタスクに対する生徒の成果を、VCAA が公表する「評価の手引き（assessment handbook）」に従って教師が評価することによって決定する。「評価の手引き」には、評価タスクと評価の際に生徒に期待すべき項目についての助言も記載してある。

評価タスクは、通常の授業における指導と学習プログラムの一部でなければならず、評価タスクがそのプログラム内での生徒の作業量に対して過度に負担を増やすようなことがあってはならない。評価タスクは授業中に教師の監督のもとで行わなければならない。生徒は評価タスクのすべてに対して日本語で回答しなければならない。

達成目標（Outcomes）	配点*	評価タスク
達成目標（Outcome） 1 独力で書いたり話したりして自分の考えを表現する。	20	500字の自分自身に関するあるいは空想の文章を書く。
達成目標（Outcome） 2 口頭のテキストから得た情報を分析したり使用したりする。	10	必要な情報を引き出し利用することによって、具体的な質問、メッセージあるいは指示に応答する。
達成目標（Outcome） 3 相手と情報、意見、経験の交換をする。	20	問題を解決することに焦点をあわせた３分から４分のロールプレーをする。
合計点	50	

*ユニット３の学校でのコースワークの評価は、「学習評価得点」の25パーセントの配点となっている。

ユニット4

学習領域

ユニット１－４に共通の学習領域については８～57ページに詳細を記載してある。

達成目標（Outcomes）

このユニットでは、生徒は２つの達成目標（outcomes）を達成することが要求される。

達成目標（Outcome）１

このユニットを修了した生徒は、書かれたテキストからの情報を分析し使用することができるようになる。

主要な知識と言語技能

この達成目標（outcome）１を達成するために、生徒は以下の知識と言語技能があることを示さなければならない。

・要旨を理解し伝えたり、要点を把握したり、情報を選択して使用したりする。
・文脈や言葉の使い方から、主張、態度、感情を推察する。
・テキストから得た情報を要約したり解釈したりする。
・あるトピックに関する複数のテキスト中の見方を比較して対立点を明らかにする。
・意図を正確に伝える。
・様々なテキストの種類に関する知識を示し、またそれを利用する。
・英語などを語源とする語や文脈から意味を類推する。

達成目標（Outcome）２

このユニットを修了した生徒は、日本語を話す社会の文化や言語の諸相を反映している口頭のあるいは書かれたテキストに批判的に応答できるようになる。

主要な知識と言語技能

この達成目標（outcome）２を達成するために、生徒は以下の知識と言語技能があることを示さなければならない。

・日本語を話す社会の生活の諸側面とオーストラリアのそれとを比較したり異なる点を明らかにしたりする。
・言語、行動、態度などの文化に固有の特徴を認識し、それについて論評する。
・言語と密接に関連するある種の文化的特徴について、意見を述べる。
・複数のテキストに述べられていることについて類似点と相違点を識別して、そこにある各種の考え方をそれぞれ支えている論拠を見つける。
・異なる社会的文脈によって使用される言語の種類が異なることを認識する。
・適切な参考資料を選択し利用する。

評価

ユニット修了の合否判定は、生徒が各ユニットで指定されている一連の達成目標（outcomes）に到達したことを実際に示せるかどうかによってなされる。この決定は、該当ユニットで指定されている評価タスクを生徒がいかに総合的に実行できるかを教師が評価し、それに基づいてなされる。VCAA は「評価の手引き」を発行する。この手引きには、評価タスクに関する助言と評価の際に生徒に期待すべき項目が記載される。

各達成目標（outcome）に挙げられている「主要な知識と言語技能」は、コースを設計したり学習活動を作成したりする際の指針として使用されるべきものである。「主要な知識と言語技能」はチェックリストのような性質のものではなく、そのような方法で使うことは、達成目標（outcomes）を達成したか否かを判断するために必要でないばかりでなく、望ましいことでもない。「主要な知識と言語技能」の各要素はそれぞれ別々に評価されるべきものではない。

到達レベルの評価

生徒のユニット４の到達レベルは、学校でのコースワークの評価と２回の学年末試験によって判定される。

最終評価に対する配点

学校でのユニット３のコースワークの評価は、「学習評価得点（study　score）」の25パーセントの配点となっている。

ユニット３と４の到達レベルも２回の学年末試験によっても評価され、これは、「学習評価得点」の50パーセントの配点となっている。

学校でのコースワークに対する評価

教師は、生徒の到達レベルの評価を示す得点を、VCAA に提出する。

得点は、次表に示されたタスクに対する生徒の成果を、VCAA が公表する「評価の手引き（assessment handbook）」に従って教師が評価することによって決定する。「評価の手引き」には、評価タスクと評価の際に生徒に期待すべき項目についての助言も記載してある。

評価タスクは、通常の授業における指導と学習プログラムの一部でなければならず、評価タスクがそのプログラム内での生徒の作業量に対して過度に負担を増やすようなことがあってはならない。評価タスクは授業中に教師の監督のもとで行わなければならない。生徒は評価タスクのすべてに対して日本語で回答しなければならない。

達成目標（Outcomes）	配点*	評価タスク
達成目標（Outcome） 1 書かれたテキストからの情報を分析し使用する。	10	必要な情報を引き出し利用することによって、具体的な質問、メッセージ、指示に応答する。
達成目標（Outcome） 2 日本語を話す社会の文化や言語の諸相を反映している口頭のあるいは書かれたテキストに批判的に応答する。	20 20	600字の説明、説得、評価を目的とする文章を書く （例えば報告、比較、批評 論評の文章）。 および 学習したテキストの内容に関連した問題について３分から４分の面接をする。
合計点	50	

*ユニット４の学校でのコースワークの評価は、「学習評価得点」の25パーセントの配点となっている。

学年末試験

学年末試験は次の通りである。

・口頭試験

・筆記試験

口頭試験（約15分）

目的

口頭試験は、主として生徒の日本語の口頭使用における知識と言語技能を評価することを目的として作成される。

試験の詳細

口頭試験は２つの部分からなる。

第１部：会話（約７分）

この試験は、生徒と試験官との間の会話で始まる。その内容は、生徒自身の身の回りのこと、例えば学校や家庭での生活、家族と友人、興味のあることや抱負などに関する一般的な会話である。

第２部：話し合い（約８分）

「会話」に続いて、生徒は試験官に「詳細研究」のために選んだサブトピックについて告げ、１分以内で、簡潔にサブトピックの要点を紹介し、自分の論点を支援する目的で持ってきたものがあれば、試験官にその

ように告げる。議論の焦点は、日本語を話す社会の文化や言語の諸相を探求することにあてられ、生徒は学習した諸テキストの内容に言及することが求められる。

生徒は自らの論点を支持するために、写真、図解、地図のようなものを利用してもよい。メモやヒントになることを書いたカードは持ち込んではならない（VET コースオプションの詳細については「LOTE　VET 別冊」を参照のこと）。

筆記試験（試験時間 2 時間、下読み時間15分を付加）

生徒は筆記試験で日本語の辞書あるいは和英／英和の辞書を使用してもよい。

第 1 部：聴いて回答する

目的

筆記試験の第 1 部は、主として耳で聞くテキストから得た情報の分析に際して必要な知識と言語技能を評価することを目的として作成されている。

生徒は、耳で聞くテキスト中の全般的な情報と特定の情報について理解していることを示し、その情報に関する質問に、パート A は英語で、パート B は日本語で答えることが求められる。質問は以下のことに関する情報を特定するよう生徒に求めるかもしれない。

・そのテキストの状況／場面、目的、聞き手

・そのテキストの言語的な諸側面（例えば、調子、言語使用域、構文についての知識）

試験の詳細

筆記試験の第 1 部は、パート A・パート B の 2 つの部分からなる。どちらのパートのテキストも指定テーマ（の 1 つあるいはそれ以上）と関連するものである。

生徒は、3 つから 5 つの日本語による異なった種類のテキストを聞く。1 回目のテキストの読み上げは途中で休止がなく、読み上げの合計時間は 4 分半から 5 分である。それぞれのテキストの長さは特に決められてはいないが、他のものより長いテキストが 1 つ含まれている。

各テキストは二回聞く。1 回目の読み上げが始まるときにその旨のアナウンスがあり、2 回目の読み上げの直前には合図の音が聞こえる。1 回目と 2 回目の間には休止が入り、その間に生徒はメモを取ることができる。2 回目の読み上げの後には生徒が回答を完成するための充分な時間が与えられる。

生徒は、表、図、リスト、記入用紙を完成する、伝言に返事をする、自由回答形式の質問あるいは多肢選択式の設問に答える、などの様々な様式の設問に対応しなければならない。

パート A

パート A には 2 編か 3 編のテキストが出題される。

設問は英語でなされ、回答も英語で答える。

パート B

パート B には 1 編か 2 編のテキストが出題される。

設問は日本語と英語でなされ、回答は日本語で答える。

第２部：読んで回答する

目的

筆記試験の第２部は、主としてテキストを読んで得た情報を分析して回答する際に必要な知識と言語技能を評価することを目的として作成されている。

パートＡでは、生徒は種々の書かれたテキストを理解していることを示すよう求められる。生徒は種々のテキストを読んで、そこから情報を引き出したり要約したり評価したりすることを求められることもある。もし２つのテキストが関係のあるものならば、生徒はその２つを比較したり対立点を明らかにしたりすることを求められることもある。

パートＢでは、生徒は書かれたテキストを理解したことを示すために、そのテキストの中の情報に日本語で回答することを求められる。

試験の詳細

筆記試験の第２部は、パートＡ・パートＢの２つの部分からなる。どちらのパートのテキストも指定テーマ（の１つあるいはそれ以上）と関連するものである。テキストを合計した長さは1,000字から1,100字で、パートＡとパートＢをあわせて２つか３つのテキストが出題される。

パートＡ

生徒は、１編か２編の日本語のテキストを読むことを要求される。テキストが２編ある場合には、両者のスタイルと意図は異なるだろうが、主題または扱う場面や内容については関連があるだろう。

テキストに関する設問は英語でなされ、英語で回答する。

パートＢ

生徒は、１編か２編の日本語のテキストを読むことを要求される。テキストに関する設問は英語と日本語でなされ、日本語で回答する。

第３部：日本語で文章を書く

目的

筆記試験の第３部は、主として生徒が独力で日本語の文章を書くことによって自分の考えを表現する能力を評価することを目的として作成されている。

試験の詳細

考え、情報、意見（このうちの１つのことも、２つ、あるいは、３つすべてのこともありうる）を提示する文章を書くことが要求される。文章は５つのタスクから１つを選んで書く。これらのタスクは、指定テーマ（の１つあるいはそれ以上）に関係があるものである。これらのタスクは、広範な生徒の関心に対応するものであり、かつ、異なる種類の文章（自身のことに関する作文、空想による作文、人を説得する作文、有益な情報を提供する作文、判断を下すための作文）を書く機会を生徒に提供するものであるよう配慮されている。このことは、例えば次のような点によって確保されている。

・タスクによって目的、読み手、文脈（内容、場面や状況）が異なる

・タスクによって異なるテキストの種類を使って書くことを求める（テキストの種類を使い分けて書く点に関しては、テキストの種類の表を参照のこと）。

生徒は、日本語で400字から500字の回答を書くことが求められる。タスクは、日本語と英語で与えられ、回答は日本語で答える。

達成目標（Outcomes）と評価タスクのまとめ

以下の表は、ユニット１－４の達成目標（outcomes）と評価タスクの概要である

ユニット１と２の達成目標（outcomes）と評価タスク

達成目標(Outcome)	ユニット１(タスク４題)	達成目標（Outcome）	ユニット２（タスク４題）
1 個人の経験に関して相手と口頭であるいは書き言葉でやりとりをはじめ、そのやりとりを維持する。	インフォーマルな会話 あるいは 私信／ファックス／電子メールに応答する。	1 仕事などで必要な調整・手配をしたり売買の取引を遂行したりするための口頭でのあるいは書面でのやりとりに参加する。	フォーマルな手紙、ファックス、あるいは電子メール あるいは ロールプレー あるいは インタビュー
2 口頭でのテキストを聞き、書かれたテキストを読んで、そこから情報を得る。	(a)口頭でのテキスト（例えば、会話、インタビュー、放送）を聞き、情報を得て、日本語または英語でメモ、図表あるいは表を完成する。 **および** (b)書かれたテキスト（例えば文章の引用、広告、手紙）を読み、情報を得て、日本語または英語でメモ、図表あるいは表を完成する。	2 口頭のテキストを聞き、書かれたテキストを読んで、そこから情報を引き出して使う。	(a)口頭のテキスト（例えば、会話、インタビュー、放送）を聞いて、その情報と考えを異なる種類のテキストで再編成する。 **および** (b)書かれたテキスト（例えば、文章の引用、広告、文字）を読んで、その情報と考えを異なる種類のテキストで再編成する。
3 現実あるいは空想上の経験を取り上げたテキストに対して自分自身の考えで応答をする。	口頭発表 あるいは 批評／論評 あるいは 論文／論説	3 実際の、あるいは空想上の経験を書き言葉あるいは話し言葉で表現する。	日記 あるいは 自分自身のことについての報告 あるいは 短い物語

ユニット３と４の達成目標（outcomes）と評価タスク

達成目標（Outcome）	ユニット３（タスク３題）	達成目標（Outcome）	ユニット４（タスク３題）
１ 独力で書いたり話したりして自分の考えを表現する。	500字の自分自身に関するあるいは空想の文章を書く。	１ 書かれたテキストからの情報を分析し使用する。	必要な情報を引き出し利用することによって、具体的な質問、メッセージ、指示に応答する。
２ 口頭のテキストから得た情報を分析したり使用したりする。	必要な情報を引き出し利用することによって、具体的な質問、メッセージあるいは指示に応答する。	２ 日本語を話す社会の文化や言語の諸相を反映している口頭の、**および**書かれたテキストに批判的に応答する。	(a)500字から600字の説明、説得、評価を目的とする文章を書く（例えば報告、比較、批評／論評の文章）。 **および** (b)学習したテキストの内容に関連した問題について３分から４分の面接をする。
３ 相手と情報、意見、経験の交換をする	問題を解決することに焦点をあわせた３分から４分のロールプレーをする。		

学習評価得点に対する評価タスクの配点

コースワークの学校での評価	%
ユニット３	
500字の自分自身に関するあるいは空想の文章	10
口頭でのテキストに対する応答	5
３分から４分のロールプレー	10
ユニット４	
書かれたテキストに対する回答	5
600字の説明、説得、評価を目的とする文章	10
３分から４分のインタビュー	10

学年末試験	%
口頭試験	
会話	
	12.5
話し合い	
筆記試験	
聴いて回答する	
パートＡ：英語での回答	7.5
パートＢ：日本語での回答	7.5
読んで応答する	
パートＡ：英語での回答	10
パートＢ：日本語での回答	5
作文	7.5

コースワークの学校での評価と学年末試験をあわせた点数配分	%
口頭	32.5
口頭でのテキストに対する回答	20
書かれたテキストに対する回答	20
作文	27.5

教師への助言

コースの開発

コースとは、生徒がそのユニットの一連の達成目標（outcomes）を達成するために必要な学習内容とそれを学習する順序の概要を示すものである。達成目標（outcomes）は、最初に要約によって説明され、続いてその達成目標（outcomes）に結びついた「主要な知識と言語技能」が紹介されている。

聞くこと・読むこと・書くこと・話すことの４つの主要な言語技能が一般的には統合された形で機能する要素であることは広く認められている。しかし、あるタスクや活動を実行する際に、１つのあるいは複数の言語技能がもっぱら使用されるというケースも、ごくふつうに見とめられる。このもっぱら１つの言語技能を使用するというアプローチは、達成目標（outcomes）とそれに結びついた「主要な知識と言語技能」の項のありかたに反映されている。全体の割合として、評価タスクの中で各主要言語技能にどれぐらいの重点が置かれているのかは、？ページの表に示されている。

教師はコースを計画するときに、各ユニットの達成目標（outcomes）の要約の中に示されている知識と言語技能を、生徒がきちんと学習することができるような学習活動をコースの中に織り込まなければならない。ユニット１と２では、教師は指定されているものの中から評価タスクを選ばなければならない。タスクは、生徒が達成目標（outcome）を達成できたかどうかを判断するためだからといって、長いものである必要はない。

ユニット３と４では、評価の方法はより厳密に決められている。コースワークの学校での評価は、評価タスクが指定されている。コースワークの学校での評価に対する各タスクの点数配分も明記されている。

教授法

コミュニカティブな教授法であれば、あるいは生徒がコースの達成目標（outcomes）を達成するために有効な教授法の組み合わせであれば、教授法として適切である。「学習の目標（aims）」と「達成目標（outcomes）」とがコミュニケーションを強調しているので、生徒に高水準で適切な日本語に触れさせるような教授法や、生徒が活発に目的を持って言語使用をするような学習活動を取り入れた教授法であるべきである。

とはいうものの、語彙、構文やその他の言葉の諸要素（助詞、慣用句など）のリストは、それらのものに焦点を当てることも生徒の学習にとって欠くことのできないものであることを示唆していることにも、教師は留意する必要がある。コースのどの時点で生徒にこのことについて教えるかは、教師自身が判断する。

構造と構成

学習活動と評価タスクそしてそれらに結びついた学習内容について、コースの計画をたて授業でおこなう順番を按配するときに、いわゆる「構成の焦点」という考え方を取り入れると有効かもしれない。テーマとトピックは、学習活動（アクティビビティー）を構成するときの効果的な焦点となり、同様に、談話形式や、言語技能、テキストなども、学習活動（アクティビティー）を構成するときの効果的な焦点となりうる。

情報通信技術（ICT）の使用

「第2言語としての日本語」のコースを設計し学習活動を計画するに当たっては、学習活動に適していて使用することが可能であるならば、コンピューターを利用した学習、マルチメディア、インターネットなどの情報通信技術（ICT）や新しい学習技術を積極的に適用することが望ましい。

語学コース実施の際にICTを利用した学習活動の適否を考慮するにあたっては、以下の適用例が参考になるだろう。

語学学習用のICTアプリケーションの利用

生徒は以下のものにアクセスすることができる。

・校内のイントラネット：宿題、練習問題、その他の教材（オーディオファイル、インタラクティブソフトウエア）、クラスチャットルーム、校内カリキュラム文書、評価タスクの例、インターネットのリンク、模擬試験。

・オンライン学習プログラム：読解や聴解のタスク、語彙や文法力を増進する練習問題、発音練習、表記練習プログラム。

・電子メールリスト、あるいは若い年齢層の人たちとのチャットルームの利用（教師の立会いが必要）。

・語学学習ドリル、練習ソフト、読解用ソフトなどの市販のCD－ROM。

・当該言語（日本語）を教えている国、あるいは日本語を話している国（日本）の生徒とのビデオ会議

生徒は自分で以下のようなことをすることができる。

・語彙データベースの作成。

・当該言語（日本語）でのワープロ技術の向上。

情報の収集

生徒はインターネットを利用して以下の情報をさがすことができる。

・世代間格差や男女間格差に関するトピックの統計資料。

・当該言語（日本語）が話されている国の人々のライフスタイル、世論、話題に関する情報。

・有名な歌手、バンド、歴史上の人物、スポーツ選手の経歴。

・おとぎ話や伝説によくでてくる人物や寓意、魔法の役割、決まった言い方や特別な用語、など。

・オーストラリアに住んでいる日本人とその生活、彼らのオーストラリア社会への寄与。

・当該言語（日本語）が話されている国のウェブサイト。例、ウェブカメラで中継される画像、学校のウェブサイト、人々が行くところ（名所旧跡、観光地、盛り場、劇場、会議場など）、一般に提供されている諸サービス（役所の業務、銀行業務、企業の業務など）。

・当該言語（日本語）の新聞や雑誌・機関紙。
・オンライン辞書、発音が聞ける辞書。
生徒はインターネットで以下のこともできる。
・書くタスクをしているときに表記や文法が正しいかどうかをチェックする。
・当該言語（日本語）で書かれた説明書を読んで、ソフトをインストールしたり、製品を組み立てたり使ったりする。

プレゼンテーション用アプリケーションの利用

生徒は ICT を利用して以下のことができる。
・アニメ、マルチメディア、パワーポイント、ウェブページを利用したプレゼンテーションの作成。
・データプロジェクター、デジタルビデオ、デジタルカメラ、デスクトップパブリッシングソフトを利用する。
・映像をダウンロードしたり、コンピューターを利用した映像を作成したりする。
・音声を録音したり音声素材をダウンロードしたりして利用し、プレゼンテーションの効果を高める。
・当該言語で授業のノートをとったりワープロでノートをとったりする。
・電話、電子メール、ファックスなどの通信媒体を利用する。
・電子メールを利用したタスクを家庭や教室から教師に送る。

主要な能力適性と就職のための技能

通常の学習内容を理解して精通した上で、さらに以下（左側）にあげたような種類の評価タスクの学習をこなすと、その学生は以下（右側）のような主要な能力適性と就職のための技能を身につけたことになる。

評価タスク	主要な能力適性と就職のための技能
自分自身のこと、あるいは空想上のことを文章に書く。	文書によるコミュニケーション、企画と運営、自己管理
書かれたテキストを分析し、それに対応する。	コミュニケーション、問題解決
問題を解決するロールプレー。	口頭でのコミュニケーション、チームワーク、問題解決、進取的・積極的精神
有益な情報を提供したり評価を下したり人を説得したりすることを目的とする応答を書く。	コミュニケーション、問題解決、企画と運営、情報通信技術の活用
面接	コミュニケーション、チームワーク、企画と運営、情報通信技術の活用
詳細研究	コミュニケーション、チームワーク、問題解決、自己管理、企画と運営、情報通信技術の活用、進取的・積極的精神

学習活動

各ユニットの学習活動の例を以下に掲げる。評価タスクの例は網掛け（　　）によって示してある。情報通信技術を利用した活動の例は ICT のアイコンを付してある。

ユニット１

テーマ
自分自身

トピック
自分の身の回りのこと

サブトピック
紹介

文法
形容詞の時制の復習
形容詞の過去形
ことが十形容詞
いちばん
〜て形
〜たり〜たり
〜て十から
位置の語
から／ので　理由
疑問詞
例：どんな、いくら、どのぐらい
　　のほうが
　　より
地名

テキストの種類
論文／論説、図表、文章穴埋め練習、会話、説明、話し合い、図画、電子メール、ゲーム、面接／インタビュー、手紙、リスト、伝言、メモ、人物紹介、レポート、自己紹介、調査、電話の会話、ウェブサイト

学習活動の例

聞く

電話を受けて伝言を書きつける。

人が自己紹介をするのを聞いて、その人に関する情報とその人が関心を持っていることをメモする。

人の外貌を聞いて、その人の絵を描く。

話す

ゲーム「有名人の頭（celebrity heads）」ー生徒たちが知っている有名な人物の特徴について質問する。

インフォーマルな会話のやり方（開始、維持、終了）を練習し、フィラーについて学ぶ。

初対面という設定での会話のロールプレーーお互いに自己紹介をして応答する。

クラスのみんなに興味のあることや家族のことなどについて調査をして、結果をグラフにして示す。

日本語話者にインタビューして、その人についての記事をニュースレターに書く。

読む

著名な人物についての記事を読み、要約する。

まとまった数の人物紹介を読み、関心や興味によってグループに分ける。

有名な日本人／スポーツ選手について調べ、簡単な人物紹介を書く。

書く

形容詞の用法を復習しながら文章穴埋め練習／文法練習をする。

疑問詞：陳述文を疑問文に換えて書いたり言ったりする。

自分の趣味や関心のあることについて手紙あるいは電子メールをペンフレンドに書く。ICT

自分の好きなことや嫌いなことについて述べた文のリストを書く。

自己紹介を学校の卒業記念文集に書く。

評価タスクの例

達成目標（Outcome）１：個人の経験に関して相手と口頭であるいは書き言葉でやりとりをはじめ、そのやりとりを維持する。

評価タスク：私信／ファックス／電子メールに応答する。

タスクの詳細：今年の後半に日本へ行くことになっていて、お世話になることになっているホームステイ先から家族のことを紹介する手紙が来ました。この受け入れ先に自己紹介の手紙か電子メールを書きなさい。

ユニット１

テーマ
日本語を話す社会

トピック
日本を訪問する

サブトピック
観光と旅行

文法
時間、年月日の言い方の復習
～から～まで
～がほしい
～がいります
より
～て十はいけません
～なければなりません
～て十もいい
なさい
～ませんか
でも／しかし
～たい

テキストの種類
広告、お知らせ、予約、パンフレット、図表、説明、ドキュメンタリー、ゲーム、旅行日程、日記、リスト、地図、絵、写真、葉書、プレゼンテーション、ロールプレー、台本／スクリプト（発話を書き起こしたもの）、要約、電話の会話、予定表、ウェブページ

学習活動の例

聞く

列車の出発時間に関する助言を聞いてメモをとり、旅行の目的に最適の列車の乗り継ぎを工夫する。

休日を日本で過ごすというツアーのCMを聞いて、このツアーのいいところを箇条書きする。

駅のホーム／車内／空港での案内放送を聞いて、重要な情報が述べられている部分を確認する。

電話で録音されている観光地の案内（必要な情報を得るために順次プッシュフォンの番号を選んで押すことを求められる）を聞き、正しい番号を選択して、図表を完成させる。

話す

２人１組で、めいめい計画中のあるいは空想上の旅行に携行する物のリストを作り、お互いにリストを比べる。

日本への修学旅行に一緒に参加することを友人に説得するという設定のロールプレーをする

いろいろな国のいろいろな町を訪問する「交通手段」ゲームで遊ぶ。

泊まる場所を予約するための情報を電話で入手し、旅行の詳細を決定する。

読む

休日旅行パッケージの説明書を読み、友人のために情報を要約して記す。

日本の観光地に関するドキュメンタリーの台本を声を出して読み、同時にその場所の写真を正しく選んで示す。

異なった種類のテキストの見本を分析／検討して話し合う。

名所旧跡・観光地に関する情報をパンフレットやインターネットで読んで、友人に勧める。ICT

インターネットで日本円とオーストラリアドルの交換レートを調べ、計算早見表（円からドルへ、ドルから円へ）を作る。
ICT

鉄道に関する情報と時刻表を読んで、10日間の日本旅行を計画し、旅行日程と旅行の詳細を書く。

書く

日本への観光旅行の日程のウェブページを作成し、観光地を

記入した地図も添える。ICT

日本で一番興味深かった１日について電子ポストカードを書いて先生に送る。ICT

ホームステイの最後の日のことをホストファミリーもふくめて日記に書く。

日本への旅行で最も印象深かったことなどを紹介するプレゼンテーションを準備する。

評価タスクの例

達成目標（Outcome）２：口頭でのテキストを聞きあるいは書かれたテキストを読んで、そこから情報を得る。

評価タスク２ⓐ：口頭でのテキスト（例えば、会話、インタビュー、放送）を聞き、情報を得て、日本語または英語でメモ、図表あるいは表を完成する。

タスクの詳細：電話で観光旅行パッケージに関する録音された情報（日本語）を聞きなさい。航空運賃、宿泊費用、出発日をメモして、英語で書かれたチャートにその情報を記入しなさい。

ユニット1

テーマ
変わりゆく世界

トピック
仕事の世界

サブトピック
パートの仕事

文法
～ことがある
～ことができる
～たいとおもっている
く／になる
つもり
～ことにする
ために
から／ので
から～まで

テキストの種類
話／てんまつ、広告、申請用紙、論文／論説、パンフレット、図表、履歴書、ディベート、話し合い、練習、手紙、メモ、履歴書、プレゼンテーション、ロールプレー、要約、ウェブページ

学習活動の例

聞く

ほかの生徒がアルバイトについて話すのを聞いて、簡単な要約を書く。

いくつかの異なるアルバイトの説明を聞いて、与えられた図表上でそれぞれの仕事とその内容、しなければならないことなどを識別する。

話す

クラスの話し合い：在学中にアルバイトをすることの長所と欠点。

オーストラリアと日本でのパートタイムの仕事について調べ、わかったこと（仕事の種類、就業者数など）について話し合う。

自分が理想とするアルバイトについてインターネットで情報を集め、それを２分間でクラスのみんなに発表する。ICT

就職面接のロールプレーをして、募集中の職に自分を採用するよう雇用者を説得する。

読む

３つの求人広告を読んで、クラスのみんなに自分はどの仕事が一番向いているか、それはなぜかを話す。

将来性のある専門職の募集広告を掲載しているウェブサイトを見て、関心を持った仕事をリストする。ICT

就職情報案内を読んで、日本語が話せる人にとって有利な仕事を見つける。

インターネットで日本国内のパートタイムの仕事の機会について調べ、ビザの条件を考慮に入れてメモを取る。ICT

書く

あるパートタイムの仕事に就職するために、採用に有利に働くと思われる自身の経験の概略を盛り込みながら、履歴書を書く。

パートタイムの仕事の初日の出来事を書く。

評価タスクの例

達成目標（Outcome）2：口頭でのテキストを聞きあるいは書かれたテキストを読んで、そこから情報を得る。

評価タスク2(b)：書かれたテキスト（例えば文章の引用、広告、手紙）を読み、情報を得て、日本語または英語でメモ、図表あるいは表を完成する。

タスクの詳細：いろいろな職種について書かれた記事を読み、資格として日本語の技能がある学生に適している職種を選んでリストを作りなさい。記事を読んで理解した情報から、日本語の技能がどのような点で有利であるかを、リストアップした職種ごとに英語で書き出しなさい。

ユニット1

テーマ
日本語を話す社会

トピック
日本人の生活

サブトピック
日本の映画、アニメ、テレビ

文法
普通形（プレーンフォーム）の復習
終助詞：
例　ね、ねえ、よ、の、わ
　　～て＋も
　　～て＋から
　　～た＋ことがある
　　～た＋あとで
　　ので
普通形（PF）＋の／んです
普通形（PF）＋名詞（関係詞節）
形容詞を重ねる

テキストの種類
広告、放送、チャットルームの発話、ドキュメンタリー、電子メール、練習、引用、映画、面接／インタビュー、リスト、批評／論評、雑誌の表紙、メモ、ポスター、ロールプレー、歌、物語、テレビ番組、ビデオ、ウェブページ

学習活動の例

聞く

映画、アニメ、テレビ番組の宣伝資料（広告・予告編）を見て（聞いて）、穴埋め練習問題を完成させる。

映画の一場面を繰り返し見て（聞いて）、言葉やしぐさがどのように意味、雰囲気、意図を伝えるために使われるかを分析、検討し、次の場面がどのように展開するかを予測する。

話す

映画の予告編（短いもの、日本語で）を立案し、ビデオかアニメーションでそれを製作する。ICT

映画、アニメなどの批評を書くために適切なテキストの種類と書き方を話し合う。

友人と日本映画を見に行く相談をするロールプレーをする。

ビデオを見て、ストーリー展開の重要なポイントを要約し、クラスのみんなに口頭で発表する。

映画を見て、主役の特徴について話し合う。

読む

インターネットで有名な日本の俳優あるいは映画監督に関する情報を集め、インタビューするための質問を準備する。ICT

インターネットで日本の映画あるいはテレビに関する情報を集める。ICT

映画、アニメ、テレビ番組の批評を読んで、メモを書く。

書く

映画の宣伝のための雑誌の表紙あるいはポスターを製作する。

授業で見たテレビ番組、アニメ、映画の批評を書いて、主題に関する意見を述べる。

日本映画あるいはテレビ番組を見てから、それについてチャットルームの設定で２人１組で話し合う。ICT

評価タスクの例

達成目標（Outcome）３：現実あるいは空想上の経験を取り上げたテキストに対して自分自身の考えで応答をする。

評価タスク：批評

タスクの詳細：見たことがある日本のテレビ番組、アニメ、映画について「視聴者雑誌」に批評を書きなさい。いろいろな角度からの意見を書き、その作品について理由をあげてランク付けをしなさい。

ユニット2

テーマ
自分自身

トピック
自分の身の回りのこと

サブトピック
ビクトリアを訪問している日本人が興味深いと思うところ

文法
〜た＋ほうがいい
〜たら／〜ば
ます形の語幹（BASE）＋かた
普通形（PF）＋ことができる
によると‥‥そう
ときに
まえに
あいだに
でしょう
かもしれない

テキストの種類
お知らせ、パンフレット、会話、説明、グラフ、旅行日程、地図、ロールプレー、スピーチ、電話の会話、ウェブページ

学習活動の例

聞く

ツアーガイドがビクトリアの観光地について説明するのを聞いて、その主な特徴を確認する。

ビクトリアの観光地の名前が日本語ではどのように発音されるかを聞いて、カタカナではどのように綴るかを確認する。

話す

人を説得したり人と交渉したりするときの有効な言葉の使い方について話し合い、また、言葉を使わないコミュニケーションの方法やフィラーについても話し合う。

動物保護区域公園あるいは動物園に行くにあたって、顧客サービス担当者と家族割引券について電話で話をする。

肯定的な表現や定型的な表現を用いて必要な手配をしたり取引を完了したりする。

自分の住んでいる地域に１週間滞在することになっている日本からの訪問者が満足するような日程表を作り、それについてクラスで、あるいはペアのパートナーと案を練り直す。

地図を使ってある地点からもう１つの地点に移動するのに最善の方法を述べる。

読む

ビクトリアの観光地で訪問者に情報を日本語で提供しているところ（ソブリンヒル、フィリップ島、王立メルボルン動物園、など）について調べる；　このタスクに必要な情報はインターネットから入手することができるかもしれない。ICT

自分の住んでいる市／町における日本人観光客の受け入れ態勢や案内情報を調べて、どのぐらいの程度まで整っているかあるいはどのぐらい有益かを査定する。

ビクトリアで最も人気のある観光地について調べ、わかったことを日本語表示のグラフの形で紹介する；　このタスクは「マイクロソフトエクセル」を利用して紹介することができる。ICT

ある観光地についての日本語で書かれた様々な文書からの引用を読む；　クラスでの話し合いの中で、その情報を参照するときに適切な言い方で示す練習をする。

書く

デスクトップパブリッシングのソフトを使って、ある１つの観光地の宣伝のためのパンフレットを日本語で作成する。ICT

ビクトリアの観光地を精選して１週間の観光ツアーの旅行日程を作る。

評価タスクの例

達成目標（Outcome）１：仕事などで必要な調整・手配をしたり売買の取引を遂行したりするための口頭でのあるいは書面でのやりとりに参加する。

評価タスク：ロールプレー

タスクの詳細：友だちとロールプレーをして、参加者全員が満足するような、日帰りの観光地へのツアーを企画しなさい。

ユニット2

テーマ
日本語を話す社会

トピック
日本の人々と知り合う

サブトピック
日本人の家庭を訪問する-日常生活

文法
ます形の語幹（BASE）＋ながら
より
普通形（PF）＋より
やすい／にくい
もっている／くる
〜ことにする
敬語（基本的なもの）
普通形(PF）＋まえに、とき、あいだに
〜のほうがいい
くらべると

テキストの種類
アニメーション、漫画、会話、説明、話し合い、練習、引用、ゲーム、面接／インタビュー、日記、雑誌記事、映画、プレゼンテーション、レシピ、録音／音声資料、レポート、批評／論評、ロールプレー、話し、ビデオ、ウェブページ

学習活動の例

聞く

音声資料を聞いて、話し手がどんなことをしたかを確認し、順番に整理する。

食事中の会話の録音を聞いて、どんな食べ物を食べているか、どんなことについて話しているか、話し手同士はどういう関係か、を確認する。

まず映画あるいはテレビドラマのある場面（日本人の家族が食事をしている場面、あるいは、朝、仕事や校に行く支度をしている場面があるもの）を見る（聞く)。次に同じ場面をもう一度、音を消して見ながら、登場人物の１人の行動を解説する。

話す

日本人の家庭の夕食という設定でロールプレーをする。

自分の日課と他のクラスメートの日課を比較しながら話し合う。

インタビューをしてみんなの毎日の習慣を明らかにし、その情報を目で見てわかるような形で示す。

読む

日本料理のレシピを読んで料理を一品作る。

インターネットやそのほかのいろいろな資料を利用して、雑誌の記事にする目的で日本の主婦／主夫のライフスタイルについて調べる。ICT

日本人の日課（お風呂に入る、など）についてそれぞれ説明したものを読んで、それらを写真と一致させる。

ある日本人家族の家庭内での１人１人の役割分担（金銭の出納、勉強、買い物、雑用をしてお小遣いをもらう、家事の手伝い、食事の準備など）を調べる。わかったことを他のクラスメートのそれと比較する。このタスクを実行するために、ビデオ会議、電子メール、インターネット、電話などを利用することも可能である。ICT

書く

（上に掲げた活動で）調べた日本人の主婦／主夫のライフスタイルについて、自分自身の属する文化圏あるいは世界各地で同様な立場にある人のライフスタイルと比較しながら論評を書く。

食事の準備の仕方について、レシピも含めて書く。

ある日本人の家族の１日について描いた漫画かアニメーションを作成する。

自分の日課について意見、感想を添えて日記を書く。

評価タスクの例

達成目標（Outcome）２：口頭でのテキストを聞き、あるいは書かれたテキストを読んで、そこから情報を引き出して使う。

評価タスク２ⓐ：口頭のテキスト（例えば、会話、インタビュー、放送）を聞いて、その情報と考えを異なる種類のテキストで再編成する。

タスクの詳細：自分と親しい関係にある日本人家族の全員を日曜日の集まりに招待することにしたという設定です。この日本人家族４人はすでにめいめい日曜日には予定があり、そのことについて話をしている録音があります。この録音を聞いて参考にし、この家族４人がみんな都合よく日曜日に参加できるように時間や場所を慎重に選び、催しを考えてください。そして、その集まりの詳細について英語でメモを書きなさい。

ユニット 2

テーマ
変わりゆく世界

トピック
自分の家と近隣

サブトピック
危険な状態の私たちの環境

文法
普通形（PF）＋ために
普通形（PF）＋うちに
普通形（PF）＋し
普通形（PF）＋ように
普通形（PF）＋そうです
〜たら
〜た＋ほうがいい
ぐらい／くらい
関係詞節

テキストの種類
論文／論説、図表、解説、描写、話し合い、電子メール、練習、説明、手紙、メモ、写真、詩、プレゼンテーション、批評／論評、ロールプレー、ストーリー、調査、ウェブページ

学習活動の例

聞く

リサイクルに関する解説を聞きながら添付の冊子を目で追って、１つ１つのリサイクルの方法について述べられるごとに下線を引く。

環境保護主義者がどのようにして私たちの環境を守るかという話をしているのを聞いて、リサイクル、環境汚染の予防、環境の保護の各項目の下にメモをとる。

映画（例えば、「となりのトトロ」）を見て（聞いて）、自然と人との関係を、過去と現在、あるいは、都会と田舎、という点から比較する。

話す

日本の都市あるいはある地域の航空写真を見て描写する。位置関係や目印となる建造物の特徴を適切に表現する構文を用いる。

どういうものをリサイクルするかという調査をして、クラスでそれについて話し合う。

毎日の生活の中で自分はどのようにして環境保護に貢献しているかをクラスのみんなに説明する。

インターネットで日本における木材を原料とする製品（箸、包装など）の使用について調べ、その情報を統計資料で補強して口頭で発表する。ICT

読む

自然を理想化している俳句を読んで、それについて話し合う。

環境保護とリサイクルについての論評を読み、その情報を再編成して広告を作成する。

日本における環境汚染の影響についてインターネットで調べ、わかったことを箇条書きで要約する。ICT

書く

インターネットを使って日本人の環境問題に関する反応で興味深いもの（例えば、東京湾におけるそれ）を調べ、わかったことについて論じた文を書く。ICT

環境問題で賛否両論があるもの（例えば、捕鯨問題）をみつけて、その問題に対する両者の見解を図表で示す。

地元の新聞の投書欄に、資源の節約に資する方策を提案する手紙を書く。

活動家のグループに電子メールを出す。内容としては、彼らの主張についてもっと情報がほしいことを書き、そしてその理由も説明する。

評価タスクの例

達成目標（Outcome） 2 ：口頭でのテキストを聞き、あるいは書かれたテキストを読んで、そこから情報を引き出して使う。

評価タスク 2 ⒝：書かれたテキスト（例えば、文章の引用、広告、手紙）を読んで、その情報と考えを異なる種類のテキストで再編成する。

タスクの詳細：リサイクルに関する記事を読んで、人々に資源を大切にし無駄遣いをしないように呼びかける広告を書く。

ユニット2

テーマ
自分自身

トピック
日常生活

サブトピック
関心のあることと余暇

文法
ます形の語幹（BASE）＋たい
ます形の語幹（BASE）＋たがる
ます形の語幹（BASE）＋たいとおもっている
ます形の語幹（BASE）＋に
ます形の語幹（BASE）＋かた
～て＋みる
～て＋いる
～て＋ください
～て＋くる
～て＋いく
が　譲歩（but）
の　名詞化（the one）

テキストの種類
論文／論説、放送、ディベート、日記、話し合い、社説、練習、面接／インタビュー、メモ、多肢選択方式練習、アンケート、ストーリー、ウェブサイト

学習活動の例

聞く

２人の人が趣味について話しているのを聞いて、質問に答える。

仕事と遊びのバランスについての放送を聞いて、意見、感想を述べる。ICT

日本の芸能人のインタビューを聞いて、彼らのライフスタイルについて、自分の理想とするライフスタイルと比較しながら簡潔な覚書を書く。

話す

スポーツ、バンド、クラブ、趣味のグループなどに参加することの価値について自分の考えをまとめて発表する。

ディベート：生きるために仕事をするのか、仕事をするために生きるのか。

バランスのとれたライフスタイルについて話し合う；　自分が仕事と勉強と余暇のバランスをどのようにとっているかを簡潔に書く。

読む

勉強とそれとのバランスをとるために必要な運動とについて書かれた記事を読む—そこから得た情報を使って自分がスポーツクラブに入会することの必要性を（親に）納得させる。

自分自身のことを書いたテキストと空想上のことを書いたテキストとを読んで、その違いについて分析する。

インターネットで日本人に人気のある余暇の過ごし方（パチンコ、カラオケ）について調べ、メモを書く。ICT

書く

日本人で、スポーツ、音楽、工芸、そのほかの趣味の分野で有名になった人の経歴をインターネットで調べて、要約する。ICT

著名な人の１日を描いた記事を読んで情報を要約する。

自分の余暇の過ごし方について２通りのことを日記のスタイルで書く。

世界レベルで活躍する運動選手、ミュージシャン、芸能人、あるいは他のことに才能のある人になったつもりで空想上のストーリーを書く。

友人を対象に余暇について調べる目的で頻度を表す副詞を使ってアンケートを作成する。

評価タスクの例

達成目標（Outcome）3：実際の、あるいは空想上の経験を書き言葉あるいは話し言葉で表現する。

評価タスク：短いストーリー

タスクの詳細：学校の作文コンテストに、「私の栄光の時」という題で、スポーツ、演技、趣味についての実際の、あるいは空想上の経験を短い作文の形で書きなさい。

ユニット３

テーマ
変わりゆく世界

トピック
日常生活の変化

サブトピック
日常生活で使う機器

文法
〜て＋くださる
〜て＋くれる
〜て＋あげる
〜て＋もらう
〜て＋いただく
普通形（PF）＋らしいです
ます形の語幹（BASE）＋かた
しか
だけ
ごろ
普通形（PF）＋名詞（関係詞節）の復習
形容詞の復習
副詞の復習
間接話法

テキストの種類
広告、アニメーション、論文／論説、批評、ディベート、ドキュメンタリー、練習、映画、取扱説明書、インタビュー／面接、はり紙、手紙、リスト、パワーポイントによるプレゼンテーション、プレゼンテーション、レポート、ロールプレー、台本／スクリプト（発話を書き起こしたもの）、スキット、ストーリー、話、ウェブサイト

学習活動の例

聞く

いろいろなテレビのCMを見て（聞いて）、それぞれの製品の主なセールスポイントと予想される購買者層を書き留める。

最新モデルの電気製品の販促のためのパワーポイントによるプレゼンテーションを見て（聞いて）、一番役に立ちそうな製品を選ぶ。なぜそう思うのかを説明する。ICT

日本のSF映画／アニメのある部分を見て（聞いて）、その場面の設定が未来であることを示唆するポイントを指摘する。

話す

日常生活で使っているもの／製品を、そのものの属性のうち３つの点を変えることによって改良する。それによって新しくできたもの／製品の絵をかき、クラスにそれの３つの特長を紹介する。

見習いジャーナリストとして、発明家にインタビューし、その発明品の用途について質問する。

ディベート：必要のない機器が多くありすぎる。

書くものについて企画し、内容を正しい順番に並べ、段落を整える、などの点を話し合い検討する。
授受動詞の用法を練習する。

２人の兄弟／姉妹の会話のロールプレーという設定で、両親が買ってくれることになっている新しいおもちゃ／ゲーム／ソフトについて何がいいか話し合う。

読む

インターネットで日本製の機器について調べ、いくつか例となるものを選んで説明し簡単な説明文を付す。ICT

オーストラリアで入手できる日本製の発明品を調べ、自分の生活にとってどの程度有益かによって３段階の基準を設けて、それらの発明品を分類する。

日本の広告に目を通してオーストラリアでも入手可能な機器を見つける。日本での値段を確認して、その値段がオーストラリアドルではいくらになるかを見積もり、その同じ製品がオーストラリアではいくらで売られているかを確認する。

テキストの種類を変更して書き直す。自分自身のことを書いたもの、あるいは、空想で書いたものを書き直す。

未来のことを扱った短い空想のストーリーを読んで、場面が未来に設定してあることを示唆する文章中の目立った点や部

分を指摘する。

書く

パワーポイントを使ってプレゼンテーションを作り、自分の発明品の特徴を紹介する（「話す」の項のタスクを参照）。ICT

以下の項目について方法や取り扱いの説明をする。ゲームの遊び方、模型の作成、発明品の使用、コンピュータソフトのインストール。図解を添えてわかりやすくする。

趣味の雑誌に新しいゲームの講評を書く。

自分が発明した機器の効果について想像上のストーリー／台本を書く。

評価タスクの例

達成目標（Outcome）１：独力で書いたり話したりして自分の考えを表現する。

評価タスク：500字の自分自身に関するあるいは空想の文章を書く。

タスクの詳細：ジャーナリストとして西暦2100年のことを報道するという設定です。典型的な日本人の家庭で目にするであろう物について想像して記事を書きなさい。

ユニット３

テーマ
自分自身

トピック
過去と未来

サブトピック
教育

文法
ます形の語幹（BASE）＋に
〜なければならない
〜た＋ほうがいい
〜ない＋ほうがいい
普通形（PF）＋まえに／とき／あいだに
普通形（PF）＋つもり
普通形（PF）＋より
助詞の復習
接続詞の復習
直接引用と間接引用
意志表現
〜て＋みる
〜て＋はいけない
〜て＋もいい
時と時間の長さの表現の復習

テキストの種類
論文／論説、放送、会話、日記、ディベート、話し合い、調査、リスト、メモ、プレゼンテーション、レポート、ロールプレー、台本／スクリプト（発話を書き起こしたもの）、要約、統計情報、話し、ウェブページ

学習活動の例

聞く

２人の生徒が進学先や将来の計画について話している会話を聞く。双方の言い分の主要なポイントについてメモをし、そのメモをもとにして間接引用の文を書く。

１年間海外留学した場合の利点と不利な点についての話し合いを聞く。

日本の大学入学問題に関するラジオ放送を聞いて、メモをとる。

話す

１年間海外留学することについて自分の意見を述べる。

インターネットで日本の教育制度について調べて、その一側面について話をする。ICT

ロールプレー。日本の高等教育機関（大学）に電話をかけて、どんなコースがあるのか、大学構内や大学の近くの下宿の事情はどうか、などを問い合わせる。

クラスでのディベート。「オーストラリアの学生の学校教育に対する考え方と日本の学生のそれとは異なるか？」

「VCE Study Design」中に概要が記載されている５種類の作文形式について話し合い、それぞれ実例を見つける。

友人の問い合わせに答えて、日本の教育システムについて情報を提供する。

読む

日本の学校の生徒たちの経験に関する記事を読んで、彼らの応答を共有の経験と固有の経験とに分類して要約する。

インターネットで日本の高校のウェブサイトを見つけ、その学校の特徴、教えている科目、学生数、設備などについて調べる。ICT

日本の学校についてインターネットで異なる種類の学校を見つけて、英語で箇条書きにする。ICT

日本の教育制度の一側面について統計情報を収集し、それをオーストラリアの教育制度の情報と比較して、わかったことをグラフを使って示す。

日本の学校で学年ごとに教えられる漢字についてそれぞれの数とどの漢字が教えられるのかを調べる。

書く

日本とオーストラリアの生徒が下級から上級に進むにつれて、それぞれの学年で経験するプレッシャーについて、評価も下しながらレポートを書く。

日本とオーストラリアの学校の制度について比較して、参考になるような論説を書く。

自分が日本人の生徒で、オーストラリアの学校に通い始めたばかりという設定で、最初の１週間の日記を日本の学校生活との違いという点に注目しながら日本語で書く。

評価タスクの例

達成目標（Outcome）２：口頭のテキストから得た情報を分析したり使用したりする。

評価タスク：必要な情報を引き出し利用することによって、具体的な質問、メッセージあるいは指示に応答する。

タスクの詳細：２人の人が自分たちの日本の学校で経験したことについて大筋を話し合っているのを聞きなさい。自分の学校の海外留学プログラムの宣伝プレゼンテーションのために、２人の経験を比較して要約しなさい。

ユニット3

テーマ
日本語を話す社会

トピック
いろいろなところへ行く

サブトピック
日本国内の旅行

文法
比較級
最上級
〜た+ことがある
〜たり〜たり
〜ながら
〜て+から
ます形の語幹（BASE）+たい
ます形の語幹（BASE）+たいとおもっている
ます形の語幹（BASE）+たがる
ます形の語幹（BASE）+に
条件法
授受動詞
方向
〜から〜まで
助数詞の復習
年月日の復習

テキストの種類
お知らせ、パンフレット、会話、説明、日記、話し合い、ドキュメンタリー、電子メール、練習、方法説明、旅行日程、手紙、メモ、パワーポイントによるプレゼンテーション、ロールプレー、ウェブページ

学習活動の例

聞く

日本の名所旧跡を扱ったドキュメンタリーの抜粋を見て（聞いて）、自分にとって興味をそそられるところを上から順に並べる。

駅や空港の旅客案内を聞いて、なるべく多くの情報を聞き取る。旅客案内で使われる決まった表現に関して調べて、意味や用法について話し合う。

旅行ガイドがある観光地の特色について説明するのを聞いて、主な点を要約する。

ある場所への行き方の説明を聞いて、地図の上で行き方を確認する。

話す

日本国内の旅行について、いろいろな可能性とそれぞれにかかる交通費・宿泊費をインターネットで調べ、話し合う。ICT

交渉したり説得したりするときの言葉の使い方について話し合う。

日本への10日間の旅行を企画し、自分の企画のすぐれている点を強調しながらパワーポイントによるプレゼンテーションでクラスに説明する。ICT

自分のホームステイ先の友人との会話という設定でロールプレーをする。その友人を姫路への日帰り旅行に強く誘って、行くことを納得させる。

グループで９月の休日の旅行の計画について検討する。メモを取り、全員が詳細について１つ１つ同意していることを確認する。

旅行案内所の人との会話という設定で話をして、自分の旅行の費用と詳細について確認する。

一連の陳述文（何かについて述べた文）を読んで、同意語（陳述文と同じことを述べている語）あるいは反意語（陳述文と反対のことを述べている語）と組み合わせる。

読む

日本で訪れたいところを調べる。興味深い特色がある、歴史に関係がある、行きやすいところにある、などの点を念頭におく。

日本人のペンフレンドからの手紙あるいは電子メールを、その人がどこに住んでいるのかに注意して読む。その情報を利

用するとどんなことが聞けるかを工夫して、返事を書く。ICT

インターネットで日本の観光地のウェブサイトを拾い読みする。面白そうか、場所は行きやすいか、呼び物はあるか、などを考慮に入れる。ICT

書く

デスクトップパブリッシングのソフトウエアを使って、自分が調べた日本の観光地（「読む」の項のタスクを参照）のパンフレットを作る。ICT

日記を書く。自分が訪れた3つの場所の印象のあらましを書く。

10日間の日本旅行の日程を作成する。交通費、宿泊費、そのほかの費用などのすべてを説明する。

評価タスクの例

達成目標（Outcome）3：相手と情報、意見、経験の交換をする。

評価タスク：問題を解決することに焦点をあわせた3分から4分のロールプレーをする。

タスクの詳細：友人と日本への10日間の旅行を計画するという設定のロールプレーをしなさい。始める前に、1日に使えるお金の最高金額と特に行きたいと思っているところを2ヵ所決めておき、それを交渉の材料にしなさい。1日にいくらまでなら使えるかということを念頭におきながら、どこに行くか、どういう交通手段でそこへ行くか、どういうところに泊まるか、という点について同意するということに努めなさい。相手の人は自分ほどお金を使いたくないようです。

ユニット4

テーマ
日本語を話す社会

トピック
日本の人々と知り合う

サブトピック
日本のアニメと漫画

文法
動詞と形容詞の過去形の復習
助詞の用法の復習
接続詞の復習
文と文のつなぎ方
原因と結果
〜ので、〜から
既習の構文の未知の文脈の中での応用

テキストの種類
アニメーション、論文／論説、漫画（1コマ／4コマ）、ドキュメンタリー、練習、映画、インタビュー／面接、漫画雑誌、プレゼンテーション、レポート、台本／スクリプト（発話を書き起こしたもの）、テレビ番組、年表、ウェブページ

学習活動の例

聞く

現代日本のアニメを見て（聞いて）、そのアニメを普通のテレビ漫画と異なるものにしている特徴を書き出す。

子供向けのテレビ漫画を見て（聞いて）、繰り返し使われる言葉を拾い出す。そして、それらの語の意味を調べ、どのような文脈で使われるのかについて話し合い、検討する。

日本の初期の漫画作家とそのジャンルの発展を扱ったドキュメンタリーを見る（聞く）。

話す

家族漫画（下の「読む」の項を参照）に見られる筋の展開と人物の扱い方について話し合う。
短いアニメのための台本を作り、クラスに紹介する。

アニメ作品を1つとりあげて、クラスで3分間の新しい場面をつくる。その登場人物の1人になったつもりで、その役を演じる（下の「書く」の項を参照）。

自分で調べた漫画かアニメの一側面について、3分から4分のインタビューに応じる。

読む

インターネットでアニメの発展の歴史を調べる。日本と世界のこのジャンルにおける進歩のあとをたどって年表にする。ICT

簡単な漫画を声を出して読み、そこで使われている言葉と描かれている人物について話し合う。

日本の家族漫画を読む（印刷されたもの、あるいはインターネットで）。筋の展開と主要登場人物の扱われ方や性格に注意を払い、わかったことを要約して、クラスで話し合う。ICT

有名な漫画作者やアニメのプロデューサーについてインターネットで調べる。ICT

書く

直接話法を間接話法に書き換える練習をする。

日本のアニメあるいは漫画の歴史的発展をたどり、参考になるような記事を書く。

日本のアニメが世界のアニメーションに及ぼした影響について、それを評価するレポートを書く。

アニメの中の登場人物の１人になって、１つの場面を再現する。

見たことがあるアニメあるいは読んだことがある漫画について、続きの筋の展開を台本にして書く。

評価タスクの例

達成目標（Outcome）１：書かれたテキストからの情報を分析し使用する。

評価タスク：必要な情報を引き出し、利用することによって、具体的な質問、メッセージ、指示に応答する。

タスクの詳細：日本のアニメや漫画の魅力に関する記事／論文を２本読み、すぐその後に受ける質問に答えて、この２本の記事の書き手から得た情報を引用したり比較したりしなさい。また、短い批評の形で、その情報を要約しなさい。

ユニット 4

テーマ
日本語を話す社会

トピック
日本人の生活

サブトピック
日本の若者

文法
比較級
普通形（PF）＋まえに／とき／あいだに
普通形（PF）＋名詞（関係詞節）
間接話法
〜たり〜たり
〜た＋ことがある
ます形の語幹（BASE）＋かた
条件法

テキストの種類
論文／論説、解説、ディベート、日記、話し合い、ドキュメンタリー、電子メール、インタビュー／面接、調査、手紙、雑誌、ニュース、プレゼンテーションの原稿、メモをとる、評論、要約、ウェブページ

学習活動の例

聞く

日本の若者との街頭インタビューを聞いて、彼らの関心や抱負に注意する。また、彼らが使う言葉のスタイルにも注意する。

現代日本の若者の抱える問題についての話を聞き、主な無視できない事柄をリストアップする。それらの問題について、オーストラリアの若者にとって重要だと思われるものから順に並べる。

日本人の学生が海外留学後に帰国して直面する問題について概略を述べた解説あるいはインタビューを聞く。それらの問題と、考えられうる解決法について話し合う。

話す

現代の社会において若者であることに特有の問題について話し合う。

ディベート：自由であればあるほど、責任を持たなければならないことも多くなる。

小グループで、日本の社会とオーストラリアの社会における教育／学歴と将来の安定性との関係についてそれぞれ検討する。わかったことをジグソーパズル形式の活動でみんなと分かち合う。

インターネットで、自分が関心のある日本の若者文化について調べる。そのトピックをクラスに紹介して、話し合う。ICT

読む

日本の若者をめぐる問題について書かれた解説文の抜粋を読む。日本人の友人に手紙か電子メールを書き、その問題に関する意見を聞く。

日本の若者の行動（服装、儀式への参加、など）について批判した雑誌記事を読む。その記事について、また、若者に対する批判が妥当なものだと思うかどうか、について批判的に話し合う。

日本の伝統的な芸術や工芸についてインターネットで調べ、自分が調べた分野について「日本の伝統が維持されるかどうかは若者の双肩にかかっていると言ったら、若者たちにとって期待しすぎだろうか」という問いかけに回答を述べる。ICT

今の世代と過去の世代の若者たちによって書かれた日記を読む。若者たちのライフスタイルの変化について新聞の記事を書き、その中で現在と過去の若者たちの関心事とライフスタ

イルについて比較する。

日本の若者向けの雑誌を読んで、日本の若者がどのように描かれているか（イメージ、ジェンダーによる役割の違い、関心のあること、など）を分析し、わかったことを記録する。

書く

「現代の日本の若者は、人生の意義について過去の世代の若者たちとはまったく異なった考えを持っている」：　この命題について、経済、教育、健康、旅行、新技術の出現、という観点から考えて、この問題をテーマとするニュース番組の原稿を書く。

現代の高度技術が存在しない生活を想像する：　現在に属する若い人が突然1970年代に逆戻りして生活するという設定で空想のストーリーか日記を書く。

校内の作文コンテストに「若者の問題は、どのぐらい真剣に社会全体の問題としてとらえられているのか」というテーマで、この問題に対する自分の考えを述べた論文を書く。

評価タスクの例

達成目標（Outcome）２：日本語を話す社会の文化や言語の諸相を反映している口頭のあるいは書かれたテキストに批判的に応答する。

評価タスク２⒜：500字から600字の説明、説得、評価を目的とする文章を書く（例えば報告、比較、批評／論評の文章）。

タスクの詳細：LOTE 作文コンテストに「現代日本において若者であることのチャレンジ」という題で、授業で学習したテキストの内容と関連させた500字から600字のレポートを書く。

評価タスク２⒝：学習したテキストの内容に関連した問題について３分から４分の面接をする。

タスクの詳細：インタビューのタスクのテーマとして以下のようなものが考えられる：

「授業で勉強したテキストに関連させて、日本の社会が若者に期待する行動／振る舞いをめぐり、１つの側面にしぼって論じる。」
あるいは
「授業で勉強したテキストに関連させて、現代の日本の若者とオーストラリアの若者の経験の違いについて論じる。」
あるいは
「授業で勉強したテキストに関連させて、日本の若者が担う役割や責任が時代によってどのように変わってきたかを論じる。」
あるいは
「授業で勉強したテキストに関連させて、今の日本の若者にとって特に重要な問題を分析する。」

「詳細研究」のサブトピック例の提案

以下のトピックとサブトピックは、「詳細研究」で焦点となりうる領域の例として分類して示してある。教師はこれらの領域のうちの１つを取り上げて焦点を当て、さらにそれを展開させて他の領域まで領域を広げてもよい。あるいは、１つのトピックの下にあげられている領域をすべて組み込むという方法も、それらの領域がそれぞれ密接に関連がある場合には、可能である。

テーマ：自分自身

トピック：自分の身の回りのこと

サブトピック：日本人にとってのオーストラリアの魅力（観光、新婚旅行、有名なスポーツ選手、など）

トピック：日常生活

サブトピック：仲間からのプレッシャーと対立

サブトピック：オーストラリアの若者と日本の若者にとっての学校の勉強の重要性と余暇の活動とのバランス

サブトピック：日本の食習慣が健康的な生活を送ろうとする人へ与える影響

サブトピック：日本人の食習慣の変化－世代による食習慣の違いの比較と食習慣の変化が与える影響

トピック：過去と未来

サブトピック：教育が将来への扉を開く

サブトピック：現代の生活は過去のそれよりも楽になった

テーマ：日本語を話す社会

トピック：日本を訪れる

サブトピック：交換留学生としての日本での生活

サブトピック：日本での勉強（高校の制度と高等教育機関）

サブトピック：日本での一風変わった経験（旅館に泊まる、都会を離れたところで生活する）

サブトピック：伝統的な日本家屋の特徴

サブトピック：伝統的な日本式庭園の特徴

トピック：日本人の生活

サブトピック：日本の若者達は重すぎる期待をになっているのか？

サブトピック：伝統的な日本人家族－そんな家族がまだ存在するのだろうか？

サブトピック：人口高齢化の影響

サブトピック：出生率と結婚率の低下および離婚率の上昇が日本社会に与える影響

サブトピック：現代日本における見合い結婚の意義

サブトピック：多文化主義－日本ではこの問題が争点になるのだろうか？（日本に住んでいる外国人、移民問題の動向、オーストラリアとの比較、など）

サブトピック：日本では漫画が大人気

サブトピック：日本のテレビとその影響

サブトピック：日本人の生活における余暇の文化とその役割（パチンコ、カラオケ、コンピューターゲーム、喫茶店、など）

サブトピック：日本における季節の重要性
サブトピック：日本人にとってのお祭りの意義
サブトピック：日本の正月のお祝い
サブトピック：日本人にとってのゴールデンウィークの重要性
トピック：日本の人々と知り合う
サブトピック：日本の漫画、世界に広まる
サブトピック：著名な日本人、その人生、生きた時代と業績
サブトピック：映画に見られる日本の社会規範と社会的態度
サブトピック：日本の若者の趣味や嗜好の変化（ファッション、音楽、スポーツ、未来、志望）
サブトピック：現代の日本人はどのように過去の伝統と折り合っているのか
サブトピック：日本の芸術を通して日本の歴史の側面を理解する（文楽、能、歌舞伎、陶芸、茶道、料理、生け花、墨絵、書道、など）

テーマ：変わりゆく世界

トピック：仕事の世界
サブトピック：オーストラリアと日本における学生アルバイトの役割
サブトピック：職場の技術革新
サブトピック：働く男性と女性の役割の変化
サブトピック：女性の職場での役割
トピック：日常生活の変化
サブトピック：技術革新の最前線にある日本ーそれが日本人の日常生活に与える影響
サブトピック：技術の革新は常に有益なのか？
サブトピック：コンピューターは私たちの生活の土台
サブトピック：世界のどこでも支持を得ている電子機器
サブトピック：コンピューターゲームのインパクト
サブトピック：インターネットの利用と乱用
サブトピック：日本の教育制度
サブトピック：息抜きー日本とオーストラリアの息抜きに対する見方の違い
サブトピック：世界で人気のあるスポーツとスポーツ選手
サブトピック：変わりつつある世界における日本の役割（経済、平和維持、国際関係、など）
トピック：自分の家と近隣
サブトピック：オーストラリアのアウトバック-未開拓の奥地と日本のアウトバック-田舎？（日本とオーストラリアの田舎を比較する、日本人が持つオーストラリアのアウトバックに対するイメージ、など）
サブトピック：繁栄か環境の保護か？
サブトピック：水ーオーストラリア人と日本人の生き方に「水」が持つ意義（農業、ライフスタイル、芸術、詩、など）
サブトピック：リサイクルの重要性
サブトピック：人々と環境のニーズにこたえる建築技術
サブトピック：日本風の様式が世界に与えるインパクト（建築、庭園、車、ファッション、料理、版画、など）

よく見られる種類のテキストの主な特徴

以下に掲げる一般的特徴は指針として提供するものである。ここに示された特徴は限定的な説明を意図しているわけではなく、ごく普通に使われている種類のテキストで文書化されたものに見られる主な特徴の数々をあげてある。

テキストの種類	そのテキストの種類に見られる特徴
記事（ニュース記事／新聞記事）	表題；署名（任意）；著者（任意）；内容；言語使用域；文体；レイアウト
略歴／伝記	表題；著者（架空）；構成（導入、本文、結論）；内容（事実）；言語使用域；文体；レイアウト
パンフレット／小冊子	トピック；見出し／小見出し；内容（事実に基づく、説得的な情報）；言語使用域；文体；レイアウト
エッセイ（感想文／随筆）	トピック；著者（架空名）；構成；トピックに応じた内容（情報を提供する、判断を下す、深く考えて述べる）；結論（有無は任意）；言語使用域；文体；レイアウト
長いキャプション	見出し；内容のパラグラフ（情報を提供）；言語使用域；文体；レイアウト（行頭の字下げがないパラグラフ／配置）
ファックス	受信者；日付；ファックス番号；送信者；ページ数；内容；末尾のあいさつ；言語使用域；文体；標準的なファックス送信用フォームのレイアウト
招待状	招待の記述；イベントの詳細(イベント、期日、場所、時間など)；返事の方法の詳細；言語使用域；文体；レイアウト
日記	日付、曜日、天気；構成（考え、できごと、重要性を述べる順序に関する構成）；内容（情報を提供する、深く考えて述べる、判断を下す）；言語使用域；文体；レイアウト
手紙（個人的な手紙） 家族、友人、知人	書き出しのあいさつ；時候の挨拶；本文(内容)；末尾のあいさつ；日付；差出人の名前（架空の名前）；受取人の名前；言語使用域；文体；レイアウト；縦書き／横書きの書き方の決まりをまもる
手紙（フォーマルな手紙） 例えば、編集者へ	日付；発行人／会社の受取人；書き出しのあいさつ；構成（序論、本論、結論）；内容；手紙を結ぶ；差出人の名前（架空）；言語使用域；文体；レイアウト
メッセージ／電子メール	受信者；件名；内容；末尾のあいさつ（電子メール）；送信者（架空）；言語使用域；文体；レイアウト（標準的なレイアウト－電子メール）

個人的な説明・報告	表題／トピック；筆者（架空）；構成；内容；結論；言語使用域；文体；レイアウト
自分の紹介（履歴書）	表題／見出し；詳細情報（住所を含む）；内容（学歴、職歴、趣味などの事実にもとづく情報）；見出し／小見出し；言語使用域；文体；標準的な用紙のレイアウト
レポート	表題；署名；（架空の）名前；構成；内容；言語使用域；文体；レイアウト
事実にもとづく報告書	表題；筆者（架空の名前）；構成（序論、本論、結論）；内容；言語使用域；文体；レイアウト
論評／批評／論評	トピック；筆者（架空の名前）；構成；内容（判断を下す）；言語使用域；文体；レイアウト
物語／短い話	表題／トピック；筆者（架空）；構成；内容；結論；言語使用域；文体；レイアウト
スピーチ原稿	表題／トピック；トピックに関する簡潔な紹介；構成；内容；結論；末尾のあいさつ；言語使用域；文体；レイアウト
要約	トピック；筆者（架空）；構成（序論、本論、結論）；内容（情報を提供）；絵や図解など（任意）；統計情報（任意）；言語使用域；文体（箇条書きは任意）；レイアウト

異なる種類の作文の主な特徴

以下の説明は、５つの異なる種類の作文の主な特徴を概説したものである。これらは単に指針を意図したものであって、生徒がこれらのすべての側面を作文に含めることを要求されることはない。

自身のことに関する作文：

・読み手の心の中に、書き手の人物／個性が感じられるように書く。
・書き手と読み手の間に、関係、親密さ、共感を打ち立てる。
・通常は、第１人称または第２人称を使用し、主観的、インフォーマルであり、打ち解けた文体あるいは言葉のレベルを使用し、しばしば、感情的な表現を含む。
・事実に基づく客観的な情報ではなく、個人の考え、意見、感情、そして印象に重きをおく。
・内省的な作文では、書くことによって筆者が自分自身の感情や考えを理解し解きほぐす。
・ある種の文脈では、例えば会話の中で使用されるような縮約形を使用してもよい。

空想による作文：

・読み手に自分が感じてもらいたいと思う気持ちや反応を起こさせるために、読み手の反応を操作する；視覚的かあるいは情緒的な訴え。
・通常は、背景（物理的環境と雰囲気）と場面・状況についての感覚を読み手の中に強力に作り出す。
・通常は、人物、場所、感情、雰囲気の描写を含む。そのため、形容詞や副詞など（あるいはこれらに相当するもの）の表現を注意深く選択することが重要である。
・各文の長さに変化を持たせる、異なる長さの文を並置する、構成や配列を注意深くコントロールするといったテクニックを使用して、望ましい雰囲気を作り出したり必要な感情を伝えたりすることにより、全体的な効果を高める。
・更なる効果をもたらすために、あえて普通の配列を崩してもよい。例えば、過去のできごとをフラッシュバックしたり、結末で事実を明かしたりすることなどは、先行する部分に異なる解釈を加える。

人を説得する作文：

・特定の目的を達成するため、すなわち、書き手が選択し重要であると認める、所期の結果や効果に達するために、読み手の感情や意見を操作する。
・説得のためにどのような技術を選ぶかは、どんな読み手に向けて書いているのかによって、大きく影響される。すなわち、その文章の言語（語彙、文構造、スタイル／言語使用域）、構成、配列は、その文章に予想される特定の読み手とその文章の目的とを配慮して決定される。
・最良の単語の選択（正確な意味合い、賛否、美徳／悪徳のニュアンスなどに関して）を必要とする。したがって、幅広い語彙と辞書を使いこなす技術が重要である。
・ある種の事例（例えば広告）では、読み手が操作されていることに気づかないよう、また、客観的で合理的であるという体裁を整えるために、間接的で、微妙で、読み手に悟られないような技術を使用する。すなわち、信用ができ、親密で、協力的な文体および言葉のレベルを使用する。
・時には、書き手と読み手の間に共同謀議的な協力関係を築くために、誇張、誇大な表現、そしてユーモアを使用する。

・直接に呼びかけたり訴えたりするために、しばしば第２人称を使用する。
・時には、読み手との関係を強めるために直接話法や質問を使用する。
・内容に権威を持たせるために、技術的、科学的な表現、最上級や数量的な記述などを使用するテクニックを使用してもよい。

情報を提供する作文：

・書き手から読み手へ情報をできるだけはっきりと、完全に、正確に伝えることを目的とする。
・通常は、客観的なスタイルと個人的ではない表現を使用するが、書き手が読み手に対し「友好的な援助者」としての関係を築きたい場合は、インフォーマルなスタイルを使用してもよい。
・通常は、伝えたい特定の主張があるわけではない。主張が絡む場合は、説得する作文（読み手にある行動をさせたり、ある反応を起こさせたりすることを目的として、読み手を特定の主張や態度に転換させる）、あるいは、判断を下すための作文（読み手に、合理的かつ客観的にある主張が正しいと判断させることを目的として、２つ以上の項目や考えを評価させる）となる。
・一般的に、事実、例、説明、たとえ、そして時には、統計的な情報、引用、参照資料を証拠として使用する。
・情報の配列が通常は論理的で予測可能なものになるように言語、構成、配列を選択して、メッセージが明白で、曖昧ではないようにする。
・説明の中で例やたとえを使用する場合以外は、形容詞、副詞やイメージをほとんど使用しない。

判断を下すための作文：

・事実と考えを論理的に提示し議論することによって、知的で偏見のない読み手にとって納得できる結論に達することを目標とする。
・ある問題について２つ以上の重要な側面、あるいは、ある議論について２つ以上の側面を提示し、合理的にかつ客観的に検討する；正反対の議論や代案の妥当性をそれぞれ支えるために証拠を使用する。
・客観的な文体を使用すること、感情ではなく理性に訴えること、バランスの取れた印象と中立性を保つことが重要である。
・しばしば原因、帰結、反対、譲歩の表現を含む。

このコースに適した参考資料

本コースは、「学習設計（Study　Design）」、すなわち「学習の領域」「達成目標（outcome）」「主要な知識と言語技能」の枠組みに従って開発されなければならない。

以下に挙げられている出版された参考資料の中には絶版になっているものもあるだろうが、図書館、書店、個人の蔵書などから入手することができるかもしれないので、一覧に含めてある。このリストの更新版はVCAA のウェブサイト〈www.vcaa.edu.au〉で公開される。

（翻訳版注：以下は明らかな誤りと、一部の翻訳を除き原文のまま掲載）

TEXTS AND BOOKS

50 Games for Drills in Learning Japanese, 1992, ALC Press, Tokyo.

80 Communication Games for Japanese Language Teachers, 1990, The Japan Times, Tokyo.

Aitchison, K 2000, *Kookoo Seikatsu Books 1 & 2*, Macmillan Education.

Alfonso Japanese, Levels 3 & 4, Curriculum Corporation, Carlton.

Allen 1992, *A Homestay in Japan*, Stone Bridge Press.

Basic Functional Japanese, 1987, Pegasus Language Services.

Obazawa Reekie, F 2002, *Excel Senior High School Japanese, Beginners and Accelerated levels*, Pascal Press.

Bunka Shokyuu Nihongo 2, 2000, Bunka Institute of Language, Japan.

Burnham, S 1996, *Kimono Book 3*, CIS Educational.

Corder et al. 1995-8, *Getting There in Japanese*, Heinemann, New Zealand. (eight volumes :
Communication and the Media
Eating and Drinking
Family Life
Japan at Work
Land and People
Leisure Activities
The Japanese School System
Travel and Tourism)

E to Tasuku de Manabu Nihongo, Bonjinsha Co. Ltd, Japan.

Evans M et al. 1996, *Japanese for Senior Students*, Addison, Wesley Longman Australia Pty Ltd, Malaysia.

Fisher A et al. 2000, *Obentoo 3*, Nelson Thomson Learning, Melbourne.

Genki 1 Integrated Course in Elementary Japanese, 2003, The Japan Times, Tokyo.

Genki 2 Integrated Course in Elementary Japanese, 2003, The Japan Times, Tokyo.

Higurashi, Y 1987, *Current Japanese*, Bonjinsha, Japan.

Ichikawa, T (ed.) 1995, *Kokugohyoogen*. (Conventions for text types/using script)

Ichikawa, T 1983, *Gendaigo*. (Text type examples/Joyoo kanii list)

Japanese for Busy People, Levels 2 & 3, 1994, Kodansha International, Japan.

Japanese for Everyone, 2001, Gakken.

Japanese for Today, Gakken, Japan.

Japanese in Modules, Levels 1, 2 & 3, 1993-8, ALC Press, Tokyo.

Japanese Life Today, 1987, 3A Corporation, Japan.

Japanese through the Seasons, ALC Press, Tokyo.

Japanese Writing Practice through Pictures and Topics, Senmon Kyooiku Publishing Co., Japan.

Kato, *Developing Topics in Japanese*, Boolarong Press.

Lee, M 1994, *Isshoni Book 3*, Moreton Bay Publishing.

Lee & Ito 2003, *Tsumiki 3*, Nelson Thomson Learning, Melbourne.

Living in Japan, ALC Press, Tokyo.

Machida & Pinda, *Intensive Japanese*, Year 12 Level, Melbourne.

Mirua, A & McGloin, N 1994, *An Integrated Approach to Intermediate Japanese*, The Japan Times, Tokyo.

Mitsui, T & Kashiwasaki, M 1991, *Dokkai 20 no Teema*, Bonjinsha Co. Ltd, Japan.

Mizutani 1981, *Nihongo Notes*, The Japan Times, Tokyo.

Motohashi 1989-90, *24 Tasks for Basic Modern Japanese 1 & 2*, The Japan Times, Tokyo.

Murano, M 1988, *Listening Tasks : Illustrations for Learning*, Bonjinsha Co. Ltd, Japan.

Murano, *E de Masutaa*, Bonjinsha Co. Ltd, Japan.

Nihon ni Ikoo, New Zealand Centre for Japanese Studies.

Nihon wo Hanasoo : Aspects of Japanese Society, The Japan Times, Tokyo.

Nihon no Kurashi 12 Kagetsu, Kyobundoo, Japan.

Obentoo Tsukuroo, 2002, Kaiseisha, Japan.

Osamu, M & Nobuko, M, *Nihongo through Newspaper Articles*, The Japan Times, Tokyo.

Ryuugakusei no 12 Kagetsu, Bonjinsha Co. Ltd, Japan.

Sasaki, M, *View of Today's Japan*, ALC Press, Tokyo.

Situational Functional Japanese, Bonjinsha Co. Ltd, Japan.

Taguchi, M 1995, *Writing in Japanese is Fun*, Beginning and Advanced levels, ALC Press, Tokyo.

Takayanagi, K et al. 1993, *Intermediate Japanese Ⅱ*, TIJ Tokyo Japanese Research Centre, Tokyo.

Tanoshiku Kikoo, 1992, Bunka Institute of Language, Japan.

Tatematsu, K et al. 1994, *Writing Letters in Japanese*, The Japan Times, Tokyo.

Tokubetsuno Hino Gohan Tsukuroo, 1993, Kaiseisha, Japan.

Tomioka, S, *Japanese Topical Composition from Speaking to Writing Ⅰ*, Senmon Kyoiku Publishing Co. Ltd, Japan.

Travelling Japan, Local Nature and Culture, ALC Press, Tokyo.

Watanabe, H 2002, *Learn Kanji in English - Coco and the Gold Flute - Essential 200 Kanji Workbook*, Kanji Dojo.

Williams, *Active Japanese*, Longman Paul Limited, New Zealand.

Wood, M 2000, *Nihongode*, Oxford Press, Australia.

Wood, M & Howie, J, *Japanese for Senior Secondary Students*, Volumes 1 & 2, Melbourne.

Writing Business Letters in Japanese, The Japan Times, Tokyo.

Yokoyamasan no Nihongo, Nihongo Kyooiku Sentaa, Japan.

Yokuwakaru Nihongo Japanese in Modules, 1-3, 1998-2002, ALC Press, Tokyo.

Yoroshiku : Moshi Moshi and Pera Pera, 1993, Curriculum Corporation, Carlton.

Kanji/Script

Aitchison, K 2000, *Kookoo Seikatsu Kanji Workbook*, Macmillan Education.

Basic Kanji Book 500, 1990, Bonjinsha, Japan.

Bradney-Smith, *Knowing the Script 1 & 2*, AIS of New South Wales.

Henshall, *A Guide to Remembering Japanese Characters*, Tuttle.

Ichi Nichi 15 Fun Volume 1, 1999, ALC Press, Tokyo.

Kanji in Context, 1994, The Japan Times, Tokyo.

Kanji in Context Workbooks 1 & 2, 1994, The Japan Times, Tokyo,

Kanji isn't That Hard! ALC Press, Tokyo.

Kanji no Kusuri, 2002.

Kanji Power Workbook : 240 Essential Kanji, ALC Press, Tokyo.

Learning Katakana Words from News, ALC Press, Tokyo.

Let's Learn Kanji, Kodansha, Japan.

Nielsen, G, *Kanji Connections*.

Sakade, *Guide to Reading and Writing Japanese*, 1959-2000, Tuttle.

Grammar dictionaries

A Dictionary of Basic Japanese Grammar, 2000, The Japan Times, Tokyo.

A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar, 2000, The Japan Times, Tokyo.

Corder, D et al., *Japanese Grammar* : A Guide for Students, Heinemann.

Hudson, *English Grammar for Students of Japanese*, The Olivia Hill Press.

Kodansha's Furigana Japanese-English English-Japanese

Dictionary, Kodansha, Japan.

Dictionaries

Basic Japanese-English Dictionary, The Japan Foundation, Bonjinsha Co Ltd, Japan.

Collins English-Japanese Dictionary, 1993, Collins.

Kenkyusha's Furigana English-Japanese Dictionary, 1990, Kenkyusha,Japan.

Kenkyusha's Japanese-English Learner's Pocket Dictionary, 1991, Kenkyusha, Japan.

Kodansha's Furigana English-Japanese Dictionary, 1996, Kodansha, Japan.

Kodansha's Furigana Japanese-English Dictionary, 1995, Kodansha, Japan.

JOURNALS ANS PERIODICALS

Dear Sensei, The Japan Foundation Sydney Language Centre

Hiragana Times, Japan.

JLTAV Newsletter

MCJLE Newsletter

Mangajin, Atlanta, USA.

Nipponia, Japan.

The Nihongo Journal, ALC Press, Tokyo.

SOFTWARE AND CD-ROMs

Japan Album

Kantaroo, 1997

Tell Me More Japanese Beginner, Auralog.

T*ell Me More Japanese Advanced*, Auralog.

The Language Market, 1997, Goprint.

The Language Market Stage B, 2001, Goprint.

Triple Play Plus! Japanese, 1990, Dragon Speech.

VIDEO

Japanese Language and People, 1991, BBC.

Secondary Access to Languages via Satellite (SALS), 1996, Victorian Department of School Education.

Yan and the Japanese People, Sakata, Y & Sakuma, K, 1990, The Japan Foundation.

WEBSITES

本書出版時点では、以下にあげたURL（ウェブサイトアドレス）が正確であること、内容が適切であることを確認済であるが、ウェブ上の素材は、その性質上、変化しやすいものであるため、引き続き正しいことは保証できない。

教師は、自分が教えるコースに適したサイトのインデックスを自分で用意し、生徒にアクセスさせる前に、アドレスを確認しておくことを推奨する。

このリストはサイトを（下位項目に分けることは難しいので）総括的に掲げてある。おおむねはページのタイトルをそのまま掲げてあるが、ページのタイトルがない場合には、内容についての簡単な記述を添えてある。

Association of Teachers of Japanese in the USA
www.colorado.edu/ealld/atj/index.html

Centre For Educational Computing (Japan)
www.cec.or.jp/cec/100p.html

www.city.kyoto.jp/index_e.html
(京都とその関連地域の一般情報)

www.japanese-online.com/
(日本に関する一般情報)

www.jwindow.net
(このページからいろいろなウェブサイトに行くのに便利)

www.nmjc.org/centre/personnel/Bookmarks.html
(Schneiderによるページを参照)

www.ntt.co.jp/japan/index-j.html
(日本に関する一般情報)

www.tokyodisneyland.co.jp
(日本のディズニーランドと関連情報のサイト)

www.yahoo.co.jp/Education/
(日本の教育に関するサーチエンジン)

www.yahoo.co.jp/Environment_and_nature/
(日本の環境問題についてのサーチエンジン)

Japan Information and Cultural Centre
www.japan.org.au/melbourne

Japan Information Network
http : //jin.jcic.or.jp/

Japanese Language Teachers' Association of Victoria (JLTAV)
www.jltav.org.au

Ontario Modern Language Teachers
http : //webhome.idrect.com/˜omlta/links.html

The Japan Foundation
www.jpf.go.jp/japan/index.html

The Ministry of Education, Science, Sports and Culture (Japan)
www.monbu.go.jp/jmindex.html

The Ministry of Foreign Affairs (Japan)
www.mofa.go.jp.mofaj

US Mirror Site
www/jin.japan.org/

ORGANISATIONS

Japan Information and Cultural Centre (JICC)
Tel : (03) 9639 3277
Fax : (03) 9639 3829

Consulate-General of Japan-Melbourne
45th floor
Melbourne Central Building
360 Elizabeth Street
Melbourne Vic 3000
Email : Melbourne@japan.org.au
Website : www.japan.org.au/melbourne

Japanese Language Teachers' Association of Victoria (JLTAV)
PO Box 195
Mount Waverley Vic 3149
Tel/fax : (03) 9802 1874
Email : jltav@bigpond.net.au
Website : www.japaneselinx.lotelinx.vic.edu.au/index.html

Japan Foundation Sydney Language Centre
Levels 11-12
201 Miller Street
North Sydney NSW 2060
Tel : (02) 9957 5322, 9957 6495
Fax : (02) 9957 6789
Email : slcgrant@jpf.org.au

Japanese Studies Centre
PO Box 11A
Monash University
Clayton Vic 3168
Tel : (03) 9905 2313
Fax : (03) 9905 3874

Melbourne Centre for Japanese Language Education
c/- Japanese Studies Centre
PO Box 11A
Monash University
Clayton Vic 3168
Tel : (03) 9905 2313
Fax : (03) 9905 3874
Website : www.arts.monash.edu.au/affiliates/mcjle/

Ministry of Education, Culture, Sports, Science & Technology
www/mext.go.jp/